

一般演題プログラム

※日にち・会場・時間順に掲載されています。

1 日 9:00～10:30 第1会場
1 日和見感染症 1

座長 服部 俊夫
 (東北大学大学院医学系研究科)
 山本 政弘
 (国立病院機構九州医療センター内科)

- 001 嚢胞性変化を認め縦隔気腫、両側気胸を合併したAIDS合併重症ニューモシスチス肺炎の1例
 鳴河宗聡、安岡 彰、舟田 久
 富山医科薬科大学医学部 感染予防医学
- 002 ST合剤による治療中に多発嚢胞性変化の悪化を来したニューモシスチス肺炎の2例
 Horiba Masahide
 独立行政法人国立病院機構東埼玉病院 呼吸器科
- 003 カリニ肺炎治療後にPMLを発症、HAART開始に伴って神経症状が急速に悪化して死亡した一症例
 松浦基夫¹⁾、前田裕弘²⁾、佐藤隆夫³⁾、大成功一⁴⁾
 1)市立堺病院 腎代謝免疫内科 2)近畿大学医学部 血液内科
 3)近畿大学医学部病院 病理部 4)市立堺病院 呼吸器内科
- 004 サイトメガロウイルス肺炎を合併したHIV初期感染の1例
 水澤昌子¹⁾、藤田 明¹⁾、畠山修司¹⁾、服部俊夫²⁾
 1)東京都立府中病院
 2)東北大学大学院医学系研究科 感染症・呼吸器病態学分野
- 005 HAART開始後に二度の免疫再構築症候群をきたしたと考えられる肺MAC症の1例
 原永修作、健山正男
 琉球大学大学院医学研究科 感染病態制御学講座 分子病態感染症学(第一内科)
- 006 高熱を繰り返したのち発症したHIV-1陽性HHV-8関連Castleman病の一例
 南 留美、山本政弘
 独立行政法人国立病院機構 九州医療センター
- 007 Primary central nervous system lymphomaを合併したAIDSの1例
 奥川 周、太田康男、北沢貴利、塚田訓久、福島篤仁、小池和彦
 東京大学医学部附属病院 感染症内科
- 008 自家末梢血幹細胞移植術を施行したHIV感染関連多発性骨髄腫の症例
 八幡真弓¹⁾、松本 拓¹⁾、山本康人¹⁾、柳 富子¹⁾、北村成大²⁾、佐多徹太郎³⁾
 1)社会保険中央総合病院 内科 2)社会保険中央総合病院 病理
 3)国立感染症研究所 感染病理部
- 009 MRI-T1強調像で高信号病変を呈したトキソプラズマ脳炎の一例
 前田卓哉、藤井 毅、遠藤宗臣、小田原隆、中村哲也、岩本愛吉
 東京大学医科学研究所 感染免疫内科

1 日 10:30～11:40 第1会場
2 日和見感染症 2

座長 安岡 彰
 (富山医科薬科大学医学部)
 青木 眞
 (サクラ精機練馬センター)

- 010 AIDS剖検例に認められた指標疾患の検討
 神戸敏行、中村 朗
 総合病院国保旭中央病院
- 011 HIV感染者におけるEBV、CMV、HHV-6ウイルス量の測定
 久保健太郎、内藤俊夫、坂本直治、大嶋弘子、三橋和則、武田直人、福田 洋、磯沼 弘、檀原 高、林田康男
 順天堂大学医学部 総合診療科
- 012 当院で経験した進行性多巣性白質脳症(PML)についての検討
 笹川 淳¹⁾、酒井美緒²⁾、牧江俊雄¹⁾、山本善彦¹⁾、上平朝子¹⁾、白阪琢磨¹⁾
 1)国立病院機構大阪医療センター 免疫感染症科
 2)同 放射線科
- 013 当院のHIV感染者におけるCMV食道炎症例の検討
 八木敦子、菅沼明彦、今村顕史、味澤 篤、根岸昌功
 東京都立駒込病院 感染症科
- 014 当院における免疫再構築症候群に関する臨床的検討
 柳澤如樹、今村顕史、菅沼明彦、味澤 篤、根岸昌功
 東京都立駒込病院 感染症科
- 015 免疫再構築症候群の臨床像について
 善本英一郎¹⁾、古西 満¹⁾、宇野健司¹⁾、笠原 敬¹⁾、三笠桂一¹⁾、源河いくみ²⁾、中村哲也³⁾、安岡 彰⁴⁾
 1)奈良県立医科大学 感染症センター
 2)国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
 3)東京大学医科学研究所 感染免疫内科
 4)富山医科薬科大学医学部 感染予防医学
- 016 免疫再構築症候群への対応に関する調査
 古西 満¹⁾、善本英一郎¹⁾、宇野健司¹⁾、笠原 敬¹⁾、三笠桂一¹⁾、源河いくみ²⁾、中村哲也³⁾、安岡 彰⁴⁾
 1)奈良県立医科大学 感染症センター
 2)国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
 3)東京大学医科学研究所 感染免疫内科
 4)富山医科薬科大学 感染予防医学

1 日 13:10～14:10

第1会場

3 医療体制 1

座長 市橋 恵子
(オフィスグレイス訪問看護ステーション堂山)
有馬 美奈
(東京都立駒込病院看護部)

017 長期療養者の受け入れ体制に関する研究

小西加保留¹⁾、石川雅子²⁾、菊池恵美子³⁾、
葛田衣重⁴⁾

1) 桃山学院大学 社会学部 社会福祉学科
2) 千葉県健康福祉部 健康増進課 疾病対策室
3) 国立病院機構 名古屋医療センター
4) 千葉大学医学部附属病院 地域医療連携部

018 駒込病院における依存性薬物使用歴のある HIV 感染者の検討

根岸昌功¹⁾、味澤 篤¹⁾、今村顕史¹⁾、菅沼明彦¹⁾、
赤穂理絵²⁾、有馬美奈³⁾

1) 東京都立駒込病院 感染症科 2) 東京都立駒込病院 神経科
3) 東京都立駒込病院 看護部

019 ねたきりエイズ患者の在宅支援における 拠点病院の役割

ーソーシャルワーカーの立場からー

葛田衣重¹⁾、長谷川啓子²⁾、天田裕子²⁾、
久保悦子⁴⁾、平井洋子³⁾、木下彩子³⁾、横幕能行⁴⁾

1) 千葉大学医学部附属病院 地域医療連携部
2) 同 リハビリテーション部 3) 同 看護部
4) 同 感染症管理治療部

020 ねたきりエイズ患者の在宅療養移行における 拠点病院医師の役割

横幕能行¹⁾、猪狩英俊¹⁾、佐藤武幸¹⁾、久保悦子¹⁾、
平井洋子²⁾、木下彩子²⁾、葛田衣重⁴⁾、
長谷川啓子³⁾、天田裕子³⁾

1) 千葉大学医学部附属病院 感染症管理治療部 2) 同 看護部
3) 同 リハビリテーション部 4) 同 地域医療連携部

021 ねたきりエイズ患者の在宅療養支援経験から 考える地域エイズ患者診療体制構築に 果たすべき拠点病院看護師の役割

平井洋子¹⁾、木下彩子¹⁾、佐々木君枝¹⁾、
久保悦子²⁾、横幕能行²⁾

1) 千葉大学医学部附属病院 看護部 2) 同 感染症管理治療部

022 HIV/AIDS 患者の在宅療養支援導入後の状況

畑中祐子¹⁾、大金美和¹⁾、池田和子¹⁾、山田由紀¹⁾、
武田謙治¹⁾、島田 恵¹⁾、石垣今日子²⁾、
岡 慎一¹⁾、木村 哲¹⁾

1) 国立国際医療センター エイズ治療・開発センター
2) 財団法人エイズ予防財団

1 日 14:10～15:40

第1会場

4 医療体制 2

座長 根岸 昌功
(東京都立駒込病院感染症科)
高田 昇
(広島大学病院輸血部)

023 HIV 診療サテライトクリニックの実践

山中 晃¹⁾、青木 眞²⁾、高 明志³⁾、山元泰之³⁾、
福武勝幸³⁾、金子 恵¹⁾

1) クリニック 2) サクラ精機(株)
3) 東京医科大学病院 臨床検査医学講座

024 一地方拠点病院におけるHIV/AIDS 診療の実践

渡辺 篤、河村一郎
愛知県厚生連安城更生病院 内科

025 人口過疎地域におけるHIV/AIDS 診療・ケアの 問題点(東北海道地区における拠点病院の現状)

宮城島拓人、金森美香、山口悦子、高橋道生、
遠藤芳彦、小柳知彦
釧路労災病院 感染症チーム

026 三重県立総合医療センターにおけるHIV/AIDS 診療体制

森 尚義¹⁾、倉田みち子²⁾、田中郁子³⁾、
谷口晴記⁴⁾

1) 三重県立総合医療センター 薬剤部
2) 三重県立総合医療センター 感染対策室
3) 三重県立総合医療センター 地域連携室
4) 三重県立総合医療センター 産婦人科

027 地方エイズ診療拠点病院である当院の現状と課題

丸山敬子¹⁾、野末法子¹⁾、宮下貞和²⁾、山崎列子¹⁾、
吉田 喬³⁾

1) 富山県立中央病院 看護部 2) 富山県立中央病院 精神科
3) 富山県立中央病院 内科

028 熊本県におけるHIV 医療体制構築に向けての 取り組み

幸 史子¹⁾、木村真知子¹⁾、高宗和子¹⁾、
宮川寿一²⁾、野坂生郷²⁾、川口辰哉²⁾、満屋裕明²⁾

1) 熊本大学医学部附属病院 看護部
2) 熊本大学医学部附属病院 血液内科・感染免疫診療部

029 エイズ治療・研究開発センターから 国内他医療機関に紹介した連携事例の 背景と療養継続支援の検討

武田謙治¹⁾、島田 恵¹⁾、池田和子¹⁾、大金美和¹⁾、
山田由紀¹⁾、畑中祐子¹⁾、石垣今日子²⁾、
岡 慎一¹⁾、木村 哲¹⁾

1) 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
2) 財団法人エイズ予防財団

030 東京女子医科大学病院におけるHIV 感染症例の 臨床像および背景について (第3報)

Itoda Ichiro、藤純一郎、安並 毅、山浦 常、
戸塚恭一
東京女子医科大学 感染症科

- 031 当センターにおける初診時直接入院成人患者の特徴と転帰の関連 ―病期別に比較して―
山本法子、中島由美、北脇亜衣、池田和子、
島田 恵、小野瀬友子
国立国際医療センター、エイズ治療・研究開発センター

1 困 18:00～19:10

第1会場

5 予防介入

座長 矢永由里子
(エイズ予防財団)
木原 正博
(京都大学大学院医学研究科)

- 032 HIV/AIDSにおける予防・啓発研修への一考察
矢永由里子
(財)エイズ予防財団

- 033 HIV感染予防介入の実践方法論としての
「プリベンション・ケースマネジメント(PCM)」
の理解と導入に関する研究
藤原良次¹⁾、鬼塚なおき²⁾、早坂典生¹⁾、
宮島謙介³⁾、橋本 謙⁴⁾、岡本 学⁵⁾、木原正博⁶⁾
1)りょうちゃんず
2)University of California, San Francisco-Center for AIDS
Prevention Studies
3)New York University
4)東京都立農業高校 5)国立病院機構大阪医療センター
6)京都大学

- 034 FGIを用いた在日ブラジル人学校における
HIV 予防・性交渉・コンドーム使用についての研究
Iwaki Elisa¹⁾、Lima Araujo³⁾、下郷さとみ¹⁾、
山形エレナ¹⁾、木原雅子²⁾、木原正博²⁾
1)CRIATIVOS-HIV・STD関連支援センター
2)京都大学大学院医学研究科社会疫学分野
3)GIV-Grupo de Incentivo a Vida

- 035 HIV/AIDS対策の策定：カナダのHIV/AIDS連邦
イニシアティブ策定に学ぶ
木村和子¹⁾、鎌倉光宏²⁾
1)金沢大学大学院 自然科学研究科
2)慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科

- 036 ゲイバーを介入空間としたワークショップ型
啓発手法「LIFE GUARD」
ー4地域（16ヶ所）の介入の効果評価
大石敏寛¹⁾、藤部荒術¹⁾、太田昌二¹⁾、
柏崎正雄²⁾、鳩貝啓美²⁾、新美 広¹⁾、河口和也³⁾
1)特定非営利活動法人動くゲイとレスビアンの会
2)特定非営利活動法人動くゲイとレスビアンの会、
財団法人エイズ予防財団 3)広島修道大学

- 037 ゲイ・バイセクシュアルを対象にしたweb 調査
生島 嗣¹⁾、大塚理加²⁾、内海千種³⁾、野坂祐子³⁾、
砂川秀樹¹⁾、牧原信也⁴⁾、春日亮二⁵⁾、池上千寿子¹⁾
1)ぶれいしす東京 2)東京都立大学 3)大阪教育大学
4)エイズ予防財団 リサーチレジデント 5)スタジオスタッグ

- 038 ゲイバーを介入空間としたワークショップ型
啓発手法「LIFEGUARD」
ープログラム内容と新規開催のための普及プロセス
藤部荒術¹⁾、大石敏寛¹⁾、太田昌二¹⁾、柏崎正雄²⁾、
鳩貝裕美²⁾、新美 広¹⁾、嶋田憲司³⁾
1)特定非営利活動法人動くゲイとレスビアンの会
2)特定非営利活動法人動くゲイとレスビアンの会、
エイズ予防財団 3)せかんどかみんぐあうと

1 困 9:00～9:50

第2会場

6 医療側意識調査

座長 井上 洋士
(三重県立看護大学)

- 039 新規採用看護職員の意識調査と今後の課題
和田良香、新家幸子
広島大学病院 看護部

- 040 HIV感染症に対する看護師の意識
布施由香梨¹⁾、倉田理恵¹⁾、佐藤久美子¹⁾、
平山真純¹⁾、大村梨奈¹⁾、池田すみ子¹⁾、
加藤宏基²⁾、天野景裕²⁾、福武勝幸²⁾
1)東京医科大学病院 看護部 2)東京医科大学病院 臨床検査医学科

- 041 「HIV患者のケアに対する看護師の不安」に
関連する因子の検討
ーHIV患者入院数調査および看護師意識調査ー
杉田美佳¹⁾、金沢小百合¹⁾、白石彩子¹⁾、
小野瀬友子¹⁾、西岡みどり²⁾
1)国立国際医療センター 2)国立看護大学校

- 042 HIV感染者のセクシュアルヘルスについての
医療従事者の認識に関する調査
村上未知子¹⁾、井上洋士²⁾、有馬美奈³⁾、
市橋恵子⁴⁾、岩本愛吉¹⁾、大野稔子⁵⁾、山元泰之⁶⁾、
木原正博⁷⁾
1)東京大学医科学研究所 2)三重県立看護大学 成人看護学
3)東京都立駒込病院 4)訪問看護ステーション堂山
5)北海道大学病院 6)東京医科大学 臨床検査医学
7)京都大学大学院 医学研究科 国際保健学

- 043 HIVソーシャルワークにおけるMSWの葛藤と
援助の変化に関する研究
伊賀陽子
兵庫医科大学病院 医療社会福祉部

1 困 9:50～10:40

第2会場

7 行動意識調査

座長 五島真理為
(特定非営利活動法人 HIV と人権・情報センター)

- 044 携帯サイトでの性・エイズの啓発&意識調査
岩室紳也
(社)地域医療振興協会 ヘルスプロモーション研究センター

- 045 「東京都エイズ電話相談」過去7年間の相談状況
白木きよみ、上野泰弘、飯田真美、稲垣智一
東京都福祉保健局 健康安全室 感染症対策課 エイズ対策係

046 日本人大学生の性意識、性行動とその性差

山本和彦
九州大学健康科学センター

047 東南アジア諸国における日本人中・長期滞在者のHIV感染リスクに関する研究

伊藤千顕¹⁾、今津里沙²⁾、野内英樹²⁾、黒岩宙司¹⁾
1) 東京大学大学院医学系研究科国際保健学専攻国際保健計画学教室
2) 財団法人結核予防会結核研究所

048 エイズを考える時 ー若者の意識変遷とエイズ教育とのギャップー

竹内 潔
北海学園大学

1 日 10:40~11:30

第2会場

8 予防教育

座長 池上千寿子
(特定非営利活動法人ぶれいす東京)

049 自習型HIV/エイズ教育の試みとその有用性 ーおまけつき

松田重三
帝京大学医学部 内科学講座

050 高校生を対象としたHIV感染予防教育 「ゲーム方式を取り入れた集団学習」の実践(1): 出前講座の内容と方法

吉澤弘道¹⁾、廣岡憲造²⁾、前川 勲¹⁾、
大久保洋子¹⁾、大坂英治¹⁾
1) 旭川WITH-HIV/AIDSとの共生を目指す市民の会
2) 旭川医科大学 健康科学講座

051 高校生を対象としたHIV感染予防教育 「ゲーム方式を取り入れた集団学習」の実践(2): 出前講座前後の知識と意識

廣岡憲造¹⁾、吉澤弘道²⁾、前川 勲²⁾、
大久保洋子²⁾、大坂英治²⁾
1) 旭川医科大学 健康科学講座
2) 旭川WITH-HIV/AIDSとの共生を目指す市民の会

052 思春期ピアカウンセリングの性感染症予防行動 への効果

前田ひとみ
宮崎大学医学部 看護学科

053 大学祭におけるピアによるHIV予防活動の効果 第2報

徳久義治¹⁾、北田真平²⁾、山田 治¹⁾
1) 山口大学医学部 保健学科 2) 山口大学医学部 医学科

1 日 13:10~14:10

第2会場

9 肝炎 1

座長 小池 和彦
(東京大学医学部附属病院感染症内科)
福武 勝幸
(東京医科大学臨床検査医学)

054 HIV感染症におけるウイルス性肝炎混合感染 およびA・B型肝炎ワクチン接種に関する研究 (第一報)

西田恭治、山元泰之、天野景裕、鈴木隆史、
篠澤圭子、辻川昭仁、尾形享一、内田泰斗、
高 明志、大瀧 学、藤田 進、加藤宏基、
清田育男、福武勝幸
東京医科大学臨床検査医学

055 HIV感染者におけるA型肝炎、B型肝炎ワクチン 接種効果の検討

古賀道子¹⁾、遠藤宗臣¹⁾、藤井 毅¹⁾、小田原隆¹⁾、
中村哲也²⁾、岩本愛吉¹⁾
1) 東京大学医科学研究所 先端医療センター感染症分野
2) 東京大学医科学研究所付属病院 感染免疫内科

056 慢性B型肝炎合併患者へのHAART導入時に 肝炎悪化を防ぐ試み

有馬靖佳、谷岡理恵
財団法人田附興風会北野病院医学研究所

057 HBV混合感染を来したHIV感染症患者に対する ARTの経験

小谷岳春¹⁾、上田幹夫¹⁾、青木 眞²⁾
1) 石川県立中央病院 血液免疫内科 2) サクラ精機株式会社

058 HIV/HBV coinfectionにおけるHBV耐性の検討

小池 満¹⁾、三好 洋²⁾、井上靖之¹⁾、高橋正知¹⁾、
山口洋子¹⁾、奥瀬千晃³⁾、杉浦 互⁴⁾、中島秀喜²⁾
1) 聖マリアンナ医科大学 血液・腫瘍内科
2) 聖マリアンナ医科大学 微生物学
3) 聖マリアンナ医科大学 消化器・肝臓内科
4) 国立感染症研究所 エイズ研究センター

059 当院におけるHBV/HIV重複感染例についての 検討

上平朝子¹⁾、笹川 淳¹⁾、森 正彦¹⁾、牧江俊雄¹⁾、
長谷川善一¹⁾、山本善彦¹⁾、下司有加²⁾、
織田幸子²⁾、白阪琢磨¹⁾
1) 国立病院機構大阪医療センター 免疫感染症科
2) 国立病院機構大阪医療センター 看護部

1 日 14:10~14:50

第2会場

10 肝炎 2

座長 瀧 正志
(聖マリアンナ医科大学小児科)

060 わが国のHIV感染血液凝固異常症における 肝疾患の病期と治療状況

瀧 正志¹⁾、立浪 忍²⁾、大井千愛¹⁾、山下敦己¹⁾、
白幡 聡³⁾、三間屋純一⁴⁾

- 1) 聖マリアンナ医科大学 小児科
2) 聖マリアンナ医科大学医学統計 3) 産業医科大学 小児科
4) 静岡こども病院 血液腫瘍科

061 広島大学病院におけるHIV/HCV重複感染患者の実態

藤井輝久¹⁾、高田 昇²⁾、河部康子²⁾、石川暢恒³⁾、木村昭郎⁴⁾

1) 広島大学病院 輸血部 2) 広島大学病院 エイズ医療対策室
3) 広島大学病院 小児科 4) 広島大学病院 血液内科

062 HIV・HCV重複感染血友病例に対する生体肝移植術施行後の長期経過ーHIV感染症治療の観点から

塚田訓久¹⁾、立川夏夫²⁾、岡 慎一²⁾、木村 哲²⁾、小池和彦¹⁾

1) 東京大学医学部附属病院感染症内科
2) 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

063 部分脾動脈塞栓術(PSE)併用によるPEG-IFN・リバビリン療法の適応拡大の可能性

久保恒明、小倉和外、奈良美保、間山 恒、赤木智昭、竹森弘光

青森県立中央病院 リウマチ血液内科

1 日 15:20~15:50

第2会場

11 普及啓発教育

座長 桜井 賢樹
(AIDS & Society 研究会議)

064 初診時50歳以上女性の診断過程の検討ー中高年女性の早期HIV陽性診断と予防のための課題ー

堀 成美、味澤 篤、菅沼明彦、今村顕史、青木 眞、根岸昌功

東京都立駒込病院 感染症科

065 北陸ブロック拠点病院からの出前研修に関する実践報告ー第1報ー(医療機関)

山田三枝子¹⁾、山下美津江²⁾、中宮久美子³⁾、辻 典子¹⁾、正兼亜季¹⁾、上田幹夫³⁾

1) 石川県立中央病院 財団法人エイズ予防財団
2) 石川県こころの健康センター 3) 石川県立中央病院

066 北陸ブロック拠点病院においての出前研修に関する実践報告ー第2報ー(福祉施設等)

山下美津江¹⁾、山田三枝子²⁾、中宮久美子³⁾、辻 典子²⁾、正兼亜季²⁾、上田幹夫³⁾

1) 石川県こころの健康センター
2) 石川県立中央病院 財団法人エイズ予防財団
3) 石川県立中央病院

1 日 15:50~17:00

第2会場

12 看護1

座長 橋口 桂子
(国立病院機構名古屋医療センター)

島田 恵
(国際医療センターエイズ治療・研究開発センター)

067 原発性肺高血圧症により重症心不全に陥ったHIV感染患者の報告

ー4ヶ月間座位による苦痛と死への恐怖を強いられた患者の退院までの援助を通してー

松本良枝、仁神亨子
社会保険中央総合病院

068 HIV/AIDS患者の療養過程における看護支援に関する検討<第1報>

ー検査・告知時に焦点を当ててー

小田みどり¹⁾、安達理恵¹⁾、竹林早苗¹⁾、松山奈央¹⁾、奥山 恵²⁾、平井和恵³⁾、渡部節子³⁾

1) 公立大学法人横浜市立大学附属病院 2) 横浜市衛生局
3) 横浜市立大学医学部 看護学科

069 女性HIV患者の看護支援を振り返るー患者の成長を促す看護支援とはー

内藤厚子¹⁾、風間良子¹⁾、山田 徹²⁾、藤澤真奈美²⁾、吉川博子³⁾

1) 新潟市民病院 看護部 2) 新潟市民病院 薬剤部
3) 新潟市民病院 感染症科

070 女性患者の療養支援に関する基礎的調査

大金美和¹⁾、山田由紀¹⁾、石垣今日子²⁾、畑中祐子¹⁾、武田謙治¹⁾、池田和子¹⁾、島田 恵¹⁾、野口明子³⁾、山田由美子³⁾、谷口晴記⁴⁾、山田里佳⁵⁾、嶋 貴子⁶⁾、川戸美由紀⁷⁾、源河いくみ¹⁾、岡 慎一¹⁾、木村 哲¹⁾、塚原優己⁸⁾、稲葉憲之⁹⁾

1) 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
2) 財団法人エイズ予防財団 3) 国立病院機構名古屋医療センター
4) 三重県立総合医療センター
5) 金沢大学医学部 6) 神奈川県衛生研究所
7) 藤田保健衛生大学医学部 8) 国立成育医療センター
9) 獨協医科大学

071 HIV/AIDS感染が精神面へ与える影響

向中野路世、村上順子、村上未知子
東京大学医科学研究所附属病院

072 脳悪性リンパ腫患者の家族へのアプローチの方向性ー両親の面接を通してー

橋口桂子
国立病院機構名古屋医療センター

073 受診中断患者の背景と受診再開への支援と経緯

下司有加、織田幸子、森田美揚子、井上磨智子、白阪琢磨
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター

1 日 17:00～17:40

第2会場

13 看護2

座長 木村真知子
(熊本大学医学部付属病院看護部)

074 HIV感染症の治療を拒否し、カリニ肺炎を 発症した1事例

ー在宅療養と外来定期受診への取り組みー
矢島悟子、三浦琢磨、小池順子、大関ひろ子、
藤井満理子、阿久津郁夫、多田節子
芳賀赤十字病院

075 HIV外来専任看護師と病棟看護師の連携の検討 ー患者アンケートを通して考えるー

古川直美、城崎真弓、西嶋恵美子、多田洋子、
井上妙子、永田寛子
国立病院機構九州医療センター

076 HIV陽性者の訪問看護受け入れに関わる要因 ー訪問看護師へのインタビューよりー

加瀬田暢子、前田ひとみ
宮崎大学医学部 看護学科

077 名古屋医療センターにおけるHAART開始後の 電話相談によるサポート支援の検討

野口明子¹⁾、山田由美子¹⁾、奥村直哉³⁾、
菊池恵美子⁵⁾、間宮均人⁴⁾、濱口元洋²⁾
1)名古屋医療センター 看護部 2)名古屋医療センター 血液内科
3)名古屋医療センター 薬剤科 4)名古屋医療センター 感染症科
5)名古屋医療センター、
財団法人エイズ予防財団 リサーチ・レジデント

1 日 9:00～9:40

第3会場

14 STD/STI/ 性感染症

座長 中瀬 克巳
(岡山市保健所)

078 当院の性感染性HIV/AIDS患者における STDの実態

伊藤俊広、佐藤 功
独立行政法人国立病院機構仙台医療センター 血液内科

079 STIクリニックでのHIV抗体調査における性感染 症抗体陽性率の推移

川畑拓也¹⁾、小島洋子¹⁾、森 治代¹⁾、大國 剛²⁾、
木村博子³⁾、大竹 徹¹⁾
1)大阪府立公衆衛生研究所 感染症部 ウイルス課 2)大國診療所
3)木村クリニック

080 札幌市における若者の性感染症に対する意識調査

神田浩路¹⁾、Chowdhury A.B.M.A.¹⁾、
Eskandarieh Sharareh¹⁾、宇佐美香織¹⁾、
廣岡憲造²⁾、増地あゆみ³⁾、五十嵐学¹⁾、
玉城英彦¹⁾
1)北海道大学医学研究科 社会医学専攻 予防医学講座 老年保健分野
2)旭川医科大学 健康科学講座
3)北海学園大学経営学部 経営情報学科

081 Role of family ties in perception of sexual behavior and knowledge about STIs among school students in Sapporo, Japan

Chowdhury A.B.M.A.¹⁾、神田浩路¹⁾、
Eskandarieh Sharareh¹⁾、宇佐美香織¹⁾、
廣岡憲造²⁾、増地あゆみ³⁾、五十嵐学¹⁾、
玉城英彦¹⁾
1)北海道大学医学研究科 社会医学専攻 予防医学講座 老年保健分野
2)旭川医科大学健康科学講座
3)北海学園大学経営学部 経営情報学科

1 日 9:40～11:10

第3会場

15 検査体制

座長 市川 誠一
(名古屋市立大学大学院看護学研究科)
今井 光信
(神奈川県衛生研究所)

082 土曜日常設抗体検査事業 ー結果お知らせの経験 (2004年度)ー

後藤哲志、榎本てる子、岳中美江、土居加寿子、
松浦基夫、藤山佳秀
NPO法人CHARM

083 HIV抗体検査前後の個別相談 ーCHARMが実施した土曜抗体検査における 相談活動の分析よりー

山中京子¹⁾、岳中美恵²⁾、岡本 学²⁾、
榎本てる子²⁾、土居加寿子²⁾、横田恵子²⁾
1)大阪府立大学人間社会学部社会福祉学科
2)NPO法人CHARM
(Center for Health and Right of Migrants)

084 大阪・土曜日常設HIV抗体検査事業における 受検者の動向

岳中美江¹⁾、後藤哲志¹⁾、土居加寿子¹⁾、
松浦基夫¹⁾、榎本てる子¹⁾、藤山佳秀¹⁾、
市川誠一²⁾
1)NPO法人CHARM 2)名古屋市立大学大学院 看護学研究科

085 HIV迅速検査の現況報告 (厚生労働科学研究費補助金研究事業 HIV検査体制の構築に関する研究班)

山中 晃¹⁾、青木 眞²⁾、高 明志³⁾、山元泰之³⁾、
福武勝幸³⁾、嶋 貴子⁴⁾、今井光信⁴⁾、金子 恵¹⁾
1)クリニック 2)サクラ精機(株)
3)東京医科大学 臨床検査医学講座 4)神奈川県衛生研究所

086 保健所等におけるHIV検査相談事業への即日検 査相談導入に要する研修に関する検討

橘とも子¹⁾、中瀬克己²⁾、嶋 貴子³⁾、今井光信³⁾、
工藤伸一⁴⁾
1)国立保健医療科学院 2)岡山市保健所 3)神奈川県衛生研究所
4)北海道立衛生研究所

087 HIV郵送検査に関する実態調査

須藤弘二¹⁾、嶋 貴子²⁾、近藤真規子²⁾、
今井光信²⁾

- 1) 神奈川県衛生研究所微生物部、
エイズ予防財団リサーチレジデント
2) 神奈川県衛生研究所微生物部

088 北陸ブロック内保健所へのHIV抗体検査に関するアンケート調査結果

- 正兼亜季¹⁾、辻 典子¹⁾、山田三枝子¹⁾、
小谷岳春²⁾、木村和子³⁾、上田幹夫²⁾
1) 石川県立中央病院 エイズ予防財団 2) 石川県立中央病院
3) 金沢大学大学院 自然科学研究科

089 医療と行政による検査／相談／医療の環境改善を目的とした取り組み

- ー多職種による講義と実践の研修会を通してー
辻麻理子¹⁾、山本政弘²⁾、城崎真弓²⁾、井上 緑¹⁾、
山田淳子³⁾、本松由紀³⁾、矢永由里子⁴⁾、
佐野 正³⁾
1) 財団法人エイズ予防財団、国立病院機構九州医療センター
感染症対策室
2) 国立病院機構九州医療センター 感染症対策室
3) 福岡県保健福祉部 健康対策課 4) 財団法人エイズ予防財団

090 HIV-1 薬剤耐性遺伝子検査法に関するアンケート調査

- 浅黄 司¹⁾、金田次弘²⁾、伊部史朗²⁾、松田昌和³⁾、
吉田 繁⁴⁾、津畑千佳子⁵⁾、大家正泰⁵⁾、
近藤真規子⁶⁾、貞升健志⁷⁾、瀧永博之⁸⁾、
正兼亜季⁹⁾、佐藤克彦¹⁰⁾、秦 真美¹⁰⁾、溝上康司¹¹⁾、
森 治代¹²⁾、南 留美¹³⁾、渡邊香奈子¹⁴⁾、
岡田清美¹⁵⁾、杉浦 互³⁾
1) 国立病院機構仙台医療センター 臨床検査科
2) 国立病院機構名古屋医療センター
3) 国立感染症研究所 エイズ研究センター
4) 北海道大学病院 検査部
5) 新潟大学大学院 歯医学総合研究科 国際感染症講座 ウイルス分野
6) 神奈川県衛生研究所 微生物部
7) 東京都健康安全研究センター 微生物部ウイルス研究科
8) 国立国際医療センター エイズ治療研究センター
9) 石川県立中央病院 中央検査部 10) 愛知県衛生研究所 微生物部
11) 国立病院機構大阪医療センター 臨床検査科
12) 大阪府立公衆衛生研究所 ウイルス課
13) 国立病院機構九州医療センター
14) 新潟県保健環境科学研究所 ウイルス科
15) 北里大塚バイオメディカルアッセイ研究所

1 困 13:10～13:50 第3会場 16 薬剤耐性 1

座長 松見信太郎
(熊本大学医学部附属病院輸血部)

091 融合阻害剤 T-20 (Fuzeon) に対する耐性 HIV の解析

- 上野真理子、梶原慶子、志村和也、児玉栄一、
松岡雅雄
京都大学ウイルス研究所附属エイズ研究施設 感染免疫研究領域

092 ヒト末梢血単核球を用いた K65R 獲得 HIV-1 の逆転写酵素阻害剤に対する感受性の解析

- 西澤雅子¹⁾、Urvi Parikh²⁾、藤野真之¹⁾、
松田昌和¹⁾、三浦秀佳¹⁾、加藤真吾³⁾、山本直樹¹⁾、
杉浦 互¹⁾

- 1) 国立感染症研究所 エイズ研究センター
2) 国立感染症研究所 エイズ研究センター、
University of Pittsburgh Graduate School of Public Health
3) 慶応大学医学部

093 Gag 切断部近傍のアミノ酸挿入変異はプロテアーゼインヒビター耐性 HIV の低下した複製能を改善する。

- 田宮貞宏¹⁾、吉村和久²⁾、満屋裕明¹⁾
1) 熊本大学医学薬学研究部 血液内科学
2) 熊本大学エイズ学研究センター 病態制御分野

094 プロテアーゼ阻害剤耐性獲得に関与する Gag matrix (p17) 領域 C 末端挿入変異の解析

- 青木 学¹⁾、青木宏美²⁾、満屋裕明²⁾
1) 熊本保健科学大学
2) 熊本大学大学院医学薬学研究部・血液内科学・感染免疫診療部

1 困 13:50～14:50 第3会場 17 薬剤耐性 2

座長 田宮 貞宏
(熊本大学大学院医学薬学研究部)
蜂谷 敦子
(国際医療センターエイズ治療・研究開発センター)

095 未治療患者由来プロテアーゼ阻害剤耐性 HIV-1 の増殖能解析

- 伊部史朗、藤崎誠一郎、藤崎彩恵子、金田次弘
国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター

096 半年以内に感染したと推定される HIV 感染症の 9 例

- 石川暢恒¹⁾、高田 昇¹⁾、河部康子¹⁾、喜花伸子¹⁾、
大江昌恵¹⁾、大下由美²⁾、畠井浩子³⁾、藤井輝久⁴⁾、
木村昭郎⁵⁾、杉浦 互⁶⁾
1) 広島大学病院エイズ医療対策室
2) 広島大学病院 医療社会福祉部 3) 広島大学病院 薬剤部
4) 広島大学病院 輸血部
5) 広島大学原爆放射線医科学研究所 血液内科
6) 国立感染症研究所エイズ研究センター

097 東京都内で検出された HIV-1 の Protease および Reverse Transcriptase 遺伝子の解析

- 貞升健志、長島真美、新開敬行、秋場哲哉、
甲斐明美、諸角 聖
東京都健康安全研究センター

098 新規 HIV-1 感染者における薬剤耐性の頻度に関する全国疫学調査

- ー2003 年から 2004 年にかけての報告
杉浦 互¹⁾、瀧永博之²⁾、吉田 繁³⁾、千葉仁志³⁾、
浅黄 司⁴⁾、松田昌和¹⁾、岡 慎一²⁾、
近藤真規子⁵⁾、今井光信⁵⁾、貞升健志⁶⁾、
長島真美⁶⁾、伊部史朗⁷⁾、金田次弘⁷⁾、浜口元洋⁷⁾、
上田幹夫⁸⁾、正兼亜季⁸⁾、大家正義⁹⁾、
渡辺香奈子¹⁰⁾、白阪琢磨¹¹⁾、山本善彦¹¹⁾、
森 治代¹²⁾、小島洋子¹²⁾、中桐逸博¹³⁾、
高田 昇¹⁴⁾、木村昭郎¹⁴⁾、南 留美¹⁵⁾、
山本政弘¹⁵⁾、健山正男¹⁶⁾、藤田次郎¹⁶⁾

- 1) 国立感染症研究所 2) 国立国際医療センター ACC
3) 北海道大学検査部 4) (独)仙台医療センター
5) 神奈川県衛生研究所 6) 東京都健康安全研究センター
7) (独)名古屋医療センター 8) 石川県立中央病院
9) 新潟大学大学院医歯学総合研究科
10) 新潟県保健環境科学研究所 11) (独)大阪医療センター
12) 大阪府立公衆衛生研究所 13) 川崎医科大学附属病院
14) 広島大学病院 15) (独)九州医療センター 16) 琉球大学医学部

099 REVERSE TRANSCRIPTASE RESISTANCE MUTATIONS IN HIV-1 INFECTED CHILDREN IN KENYA

Lwembe Raphael¹⁾、Songok Elijah Maritim²⁾、
宮下宙子¹⁾、小泉祐介¹⁾、景山誠二¹⁾、山本直彦³⁾、
市村 宏¹⁾
1) 金沢大学大学院 医学系研究科 ウイルス感染症制御学
2) ケニア中央医学研究所
3) 名古屋大学大学院 医学研究科 医動物学

100 カメルーン北西部におけるHIV-1サブタイプ分布と未治療群内の薬剤耐性株頻度の解析

小泉祐介¹⁾、宮下宙子¹⁾、Lwembe Raphael¹⁾、
Ndembi Nicaise¹⁾、景山誠二¹⁾、藤山佳秀²⁾、
市村 宏¹⁾
1) 金沢大学大学院研究科ウイルス感染症制御学講座
2) 滋賀医科大学医学部 内科学講座 消化器血液部門

1 日 14:50～15:30

第3会場

18 薬剤耐性3

座長 杉浦 互
(国立感染症研究所エイズ研究センター)

101 計算科学と分子遺伝学の解析手法を用いたHIV-1逆転写酵素ATP結合部位の検討

横山 勝¹⁾、守 宏美²⁾、中村浩美²⁾、佐藤裕徳²⁾
1) 長崎大学 熱帯医学研究所 2) 国立感染症研究所 遺伝子解析室

102 コンピューター・シミュレーションによるCRF01_AE NH1 N88S HIV-1 PRのNFV耐性機構の解明

大出裕高¹⁾、杉浦 互²⁾、星野忠次¹⁾
1) 千葉大学大学院薬学研究院
2) 国立感染症研究所エイズ研究センター

103 HIV-RT 薬剤感受性迅速試験法(半日)の開発

仲宗根正¹⁾、高松純樹²⁾、杉浦 互¹⁾、佐藤裕徳³⁾、
山本伸二⁴⁾、Heneine Walid⁵⁾、山本直樹¹⁾
1) 国立感染症研究所 エイズ研究センター
2) 名古屋大学医学部付属病院 輸血部
3) 国立感染症研究所 遺伝子解析室
4) 山本皮膚科クリニック (熊本市)
5) 米国CDCレトロウイルス部門

104 実用的な抗HIV-1薬剤耐性フェノタイプ測定法の確立

橋本 修¹⁾、吉田隆史¹⁾、林 明男¹⁾、蜂谷敦子³⁾、
巽 正志²⁾、岡 慎一³⁾、山崎修道¹⁾、青木 学¹⁾
1) 株式会社三菱化学ビーシーエル
2) 国立感染症研究所 エイズ研究センター
3) 国立国際医療センター エイズ治療研究開発センター

1 日 18:00～19:10

第3会場

19 病態

座長 明里 宏文
(医薬基盤研究所霊長類医学研究センター)
三浦 智行
(京都大学ウイルス研究所)

105 HIV感染者の精液所見から得られる知見と性感染防止対策

花房秀次¹⁾、小島賢一¹⁾、木内 英¹⁾、太田末緒¹⁾、
和田育子¹⁾、田中理恵²⁾、加藤真吾²⁾
1) 荻窪病院 血液科 2) 慶應義塾大学 微生物

106 HAARTにより長期間ウイルスが抑制された症例のpDNAの推移

吉村和久、柴田潤二、池田輝政、高濱宗一郎、
松永雄亮、小糸 厚、松下修三
熊本大学エイズ学研究センター 病態制御分野

107 免疫不全ウイルスの感染における血球細胞の経時的な病的変化の解析

太田信頼¹⁾、兼清 優¹⁾、網 康至²⁾、相澤志保子¹⁾、
山本直樹¹⁾、奥田研爾³⁾、本多三男¹⁾
1) 国立感染症研究所 エイズ研究センター
2) 国立感染症研究所 動物管理室
3) 横浜市立大学大学院医学研究科 分子生体防御学

108 サルCD4⁺T細胞とCD4⁺CD8⁺T細胞のSIVmac239に対する感受性の差異

高橋秀実¹⁾、高橋めぐみ²⁾、斉藤尚紀³⁾、
守屋慶一¹⁾、上坂浩実³⁾、福島達伸²⁾、井戸栄治³⁾、
伊吹謙太郎³⁾、三浦智行³⁾、速水正憲³⁾
1) 日本医科大学 微生物学免疫学教室
2) 京都大学ウイルス研究所附属エイズ研究施設 感染制御研究領域
3) 京都大学ウイルス研究所附属感染症モデル研究センター 霊長類モデル研究領域

109 強毒・弱毒SHIVの感染初期における胸腺組織及び胸腺内T前駆細胞の解析

元原麻貴子¹⁾、伊吹謙太郎¹⁾、三宅在子¹⁾、
深澤嘉伯¹⁾、稲葉一寿¹⁾、鈴木 元¹⁾、増田恭子²⁾、
河本 宏²⁾、仲宗根正³⁾、本多三男³⁾、
速水正憲¹⁾、三浦智行¹⁾
1) 京都大学ウイルス研究所 感染症モデル研究センター 霊長類モデル研究領域
2) 理化学研究所 免疫アレルギーセンター
3) 国立感染症研究所 エイズ研究センター

110 強毒、弱毒SHIV粘膜感染初期の全身臓器におけるウイルス動態の解析

深澤嘉伯¹⁾、三宅在子²⁾、伊吹謙太郎¹⁾、
鈴木 元¹⁾、堀内励生¹⁾、斉藤尚紀¹⁾、
元原麻貴子¹⁾、稲葉一寿¹⁾、姫野 愛¹⁾、
渡邊俊樹²⁾、三浦智行¹⁾、速水正憲¹⁾
1) 京都大学ウイルス研究所 感染症モデル研究センター 霊長類モデル
2) 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 病態医療科学分野

111 HIV脳症における中枢神経系未分化細胞群関与の検討

三浦義治、北山裕子、小柳義夫
京都大学ウイルス研究所 エイズ研究施設 感染病態研究領域

1 日 9:00~10:00

第4会場

20 HIV 感染機構 1

座長 森内 昌子
(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)
三浦 義治
(京都大学ウイルス研究所)

112 CCR5高発現細胞で複製が抑制されるHIV-1の性質

門出和精、遊佐敬介、前田洋助、原田信志
熊本大学大学院 医学薬学研究部 感染防御学分野

113 Cell surface expression of CXCR4 is regulated by an non-tyrosine-based diacidic motif within the cytoplasmic tail

駒野 淳、二橋悠子、浦野恵美子、青木 徹、
貝の瀬由成、宮内浩典、磯貝まや、松田善衛、
山本直樹
国立感染症研究所 エイズ研究センター

114 アミノ末端領域にチロシンを持つ様々なGPCRのHIV/SIV コレセプター活性の解析

清水宣明¹⁾、大上厚志¹⁾、田中 淳¹⁾、大槻貴博¹⁾、
武部 豊²⁾、草川しげる²⁾、森 隆久¹⁾、
山口華代¹⁾、中谷陽子¹⁾、星野洪郎¹⁾
1)群馬大学大学院医学系研究科 分子予防医学
2)国立感染症研究所 エイズ研究センター

115 ヒト脳微小血管に由来する内皮細胞と周皮細胞の共存培養系を用いたHIV-1感染試験

大上厚志、清水宣明、田中 淳、大槻貴博、
星野洪郎
群馬大学大学院 医学系研究科 分子予防医学

116 Mechanism of HIV-1 induction in J22-HL-60 cells after co-culture with MOLT-4 cells

斉 曉華¹⁾、小屋美博³⁾、斉藤達哉²⁾、清水佐紀²⁾、
斉藤愛記²⁾、大庭賢二²⁾、山岡昇司²⁾、山本直樹³⁾
1)東京医科歯科大学医学部 ウイルス制御学
2)東京医科歯科大学大学院医歯薬学総合研究科 ウイルス制御学
3)国立感染症研究所 エイズ研究センター

117 HIV-1複製抑制効果を有するマイコプラズマ由来の因子

久保 誠、西辻裕紀、栗原 清、林 隆也、
増田貴夫、神奈木真理
東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 免疫治療学

1 日 10:00~10:40

第4会場

21 HIV 感染機構 2

座長 藤田美歌子
(徳島大学大学院)

118 初乳中マクロファージ上のDC-SIGNを介したHIV-1感染伝播の可能性

里見操緒¹⁾、清水真澄²⁾、新谷英滋²⁾、
渡理英二²⁾、大脇敦子²⁾、八木幸恵¹⁾、渡邊嘉之²⁾、
日高千鶴乃²⁾、市川雅男¹⁾、竹下俊行¹⁾、
高橋秀実²⁾
1)日本医科大学医学部 女性診療科
2)日本医科大学 微生物学免疫学教室

119 Alpha-Fetoprotein (AFP) Suppresses HIV-1 Infection at Multiple Steps: Implications in Mother-to-Child Transmission(MTCT)

森内昌子¹⁾、森内浩幸²⁾
1)長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 新興感染症病態制御学系
専攻 感染分子病態学講座
2)長崎大学医学部・歯学部附属病院 小児科

120 ラクトフェリンおよびラクトペルオキシダーゼによるHIV感染阻害とTNF- α 産生との関係

富永 燦¹⁾、小森康雄²⁾、中島仁一²⁾、泉福英信¹⁾
1)国立感染症研究所 2)東京医科大学

121 Breast Milk-Derived Factors, Lactoperoxidase (LPO) and Sialyl Lactose (SL), Inhibit HIV-1 Infection

森内浩幸¹⁾、森内昌子¹⁾、川上 浩²⁾
1)長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 新興感染症病態制御学系
専攻 感染分子病態学講座
2)雪印乳業株式会社 技術研究所

1 日 10:40~11:40

第4会場

22 Vpr・Nef

座長 中山 英美
(大阪大学微生物病研究所)
高折 晃史
(京都大学大学院医学研究科)

122 Regulation of HIV-1 viron protein expression by Vpr

張 陰峰¹⁾、田中勇悦²⁾、間 陽子¹⁾
1)独立行政法人理化学研究所 分子ウイルス学研究ユニット、
日本エイズ予防財団
2)琉球大学大学院 医学研究科 免疫学分野

123 HIV-1 Vpr変異体の感染初期に及ぼす影響

宗田光峰¹⁾、山本典生²⁾、飯島沙幸³⁾、山本直樹⁴⁾、
間 陽子¹⁾
1)理化学研究所 2)東京医科歯科大学大学院 ウイルス制御
3)国立感染症研究所 筑波医学実験用霊長類センター
4)国立感染症研究所 エイズ研究センター

124 HIV-2 Vpxは細胞増殖抑制効果を示す

藤田美歌子、長尾多美子、足立昭夫
徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部ウイルス病原学分野

125 Cellular Protein Nef Inhibits HIV-1 Replication Through Functional Inhibition of HIV-1 Nef

Chang Myint Oo¹⁾、Yamamoto Norio²⁾、Yamamoto Naoki³⁾

1)東京医科歯科大学医歯科学総合研究科 ウイルス制御学
2)東京医科歯科大学医歯科学総合研究科 ウイルス制御学
3)国立感染症研究所 エイズ研究センター

126 HIV-1 NefによるMHC-I発現抑制における Arg-rich motif の意義

飯島沙幸、李 永仲、明里宏文
医薬基盤研究所 薬理医科学研究センター

127 NefはHckを介してサイトカインレセプター経路を選択的に阻害する

鈴 伸也、原田英樹、岡田誠治
熊本大学エイズ学研究センター 予防開発分野

1 困 15:20~16:10

第4会場

23 HIV 粒子・組み込み・メチル化

座長 有海 康雄
(熊本大学エイズ学研究センター)

128 HIV-1 サブタイプ間ヘテロゲノム二量体化効率の解析

櫻木淳一、塩田達雄
大阪大学微生物病研究所 ウイルス感染制御分野

129 HIV-1 及び MLV の組み込み過程での 宿主 DNA 修復系の関与について

田中正和¹⁾、中村博保¹⁾、佐々木健太¹⁾、吉田智志¹⁾、新田孝幸¹⁾、酒井博幸²⁾、三輪正直¹⁾
1)長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部
2)京都大学ウイルス研究所 癌遺伝子

130 長期間 HAART 有効症例における残存 HIV と integration site の関連性

池田輝政、柴田潤二、吉村和久、小糸 厚、松下修三
熊本大学エイズ学研究センター 病態制御分野

131 新規 HIV-1 インテグラーゼ結合因子 Gemin2 の機能解析

増田貴夫、西辻裕紀、濱本誠二、小櫃冨未、神奈木真理
東京医科歯科大学大学院 歯医学総合研究科 免疫治療学分野

132 HIV-1 プロウイルス LTR の *in vivo* メチル化解析

石田尚臣¹⁾、鈴木一雄²⁾、三宅在子¹⁾、Cooper David²⁾、渡邊俊樹¹⁾
1)東京大学大学院 新領域創成科学研究科 病態医療科学分野
2)St. Vincent's Hospital, Lab. Immunology

1 困 16:10~16:50

第4会場

24 Vif・APOBEC3G

座長 間 陽子
(理化学研究所)

133 ラット由来 APOBEC3 のレトロウイルス感染阻害効果

小糸 厚¹⁾、柴田潤二¹⁾、大杉剛生²⁾
1)熊本大学エイズ学研究センター
2)熊本大学生命資源研究支援センター

134 Inactivation of murine APOBEC3G by murine leukemia virus protease.

AIERKEN ABUDU、高折晃史、白川康太郎、泉 泰輔、笹田亜麻子、朝長充則、内山 卓
京都大学医学研究科 血液腫瘍内科

135 APOBEC3G は HTLV-1 の感染性を抑制する

笹田亜麻子¹⁾、高折晃史¹⁾、白川康太郎¹⁾、Abudu Aierin¹⁾、田中勇悦²⁾、内山 卓¹⁾
1)京都大学大学院 医学研究科 血液・腫瘍内科
2)琉球大学大学院 医学研究科 免疫学分野3)4)

136 Vif-ElonginB-ElonginC-Cullin5 複合体による抗レトロウイルス宿主因子 APOBEC ファミリー蛋白のユビキチン化

白川康太郎、高折晃史、泉 泰輔、朝長充則、笹田亜麻子、AierkinAbudu、内山 卓
京都大学大学院 医学研究科 血液腫瘍内科

1 困 16:50~17:30

第4会場

25 HIV 複製・転写

座長 石田 尚臣
(東京大学大学院新領域創成科学研究科)

137 HIV-1 マトリックス蛋白質のウイルス感染前期過程における役割

村上 努、篠田知宏、内藤幸美、磯貝まや、宮内浩典、駒野 淳、松田善衛、山本直樹
国立感染症研究所 エイズ研究センター

138 Rapid propagation of low-fitness drug resistant mutants of HIV-1 by a -1 frameshift enhancer sparsomycin

駒野 淳、宮内浩典、Lay Myint、二橋悠子、浦野恵美子、松田善衛、千葉智子、三浦秀佳、杉浦 互、山本直樹
国立感染症研究所 エイズ研究センター

139 転写因子 AP-4 による HIV-1 発現抑制機構

今井健一、岡本 尚
名古屋市立大学 医学研究科 細胞分子生物学

140 T-type cyclin/CDK9 複合体の活性化を抑制する細胞内因子による HIV-1 複製制御

清水佐紀¹⁾、駒野 淳²⁾、浦野恵美子²⁾、二橋悠子²⁾、宮内浩典²⁾、磯貝まや²⁾、松田善衛²⁾、

納富香子²⁾、小野木利成²⁾、武部 豊²⁾、
山本直樹²⁾
1)東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 ウイルス制御学
2)国立感染症研究所 エイズ研究センター

1 日 17:30~18:10	第4会場
26 HIV 複製・宿主因子	
座長 鈴 伸也 (熊本大学エイズ学研究センター)	

- 141 HIV-1 life cycleの後期過程に対するNMT isozymeの重要性の検討
田中研造、高宗暢暁、三隅将吾、庄司省三
熊本大学大学院 医学薬学教育部薬学生化学
- 142 HIV-1複製に関与する宿主因子ATM
有海康雄¹⁾、Didier Trono²⁾
1)熊本大学エイズ学研究センター ウイルス制御分野
2)ローザンヌ工科大学
- 143 テトラスパニン分子によるHIV-1粒子の感染性抑制
青木 淳¹⁾、佐藤 佳¹⁾、大黒恵理子²⁾、
佐野浩一²⁾、小柳義夫¹⁾
1)京都大学ウイルス研究所 感染病態研究領域
2)大阪医科大学 予防社会医学講座微生物学ユニット
- 144 アフリカミドリサル由来TRIM5 α の
レンチウイルス阻害効果
中山英美¹⁾、永井美之²⁾、塩田達雄¹⁾
1)大阪大学微生物病研究所 ウイルス感染制御分野
2)富山衛生研究所

1 日 18:10~19:20	第4会場
27 HIV 分子進化系統	
座長 武部 豊 (国立感染症研究所エイズ研究センター) 佐藤 裕徳 (国立感染症研究センター遺伝子解析室)	

- 145 HIV-1サブタイプB'感染性分子クローンの
樹立とその性状の解析
草川 茂、武部 豊
国立感染症研究所 エイズ研究センター
- 146 Dual infection of multiple lineages of
HIV-1 strains in the unique geographical
recombination hotspots in Asia
Li Xiao-Jie¹⁾、Hoshina Yoshimi¹⁾、
Yokota Yuko¹⁾、Aye Kay Thi²⁾、Thwe Min²⁾、
Xia Xueshan³⁾、Kusagawa Shigeru¹⁾、
Takebe Yutaka¹⁾
1)AIDS Research Center, National Institute of Infectious
Diseases
2)National AIDS Programme, Ministry of Health, Yangon,
Myanmar
3)Kunming University of Science and Technology,
Yunnan, China

- 147 Emergence of New HIV-1 Recombinant
Forms in Malaysia
Tee Kok Keng¹⁾、Li Xiao-Jie¹⁾、
Nohtomi Kyoko¹⁾、Pon Chee Keong²⁾、
Kamarulzaman Adeeba²⁾、NgKee Peng²⁾、
Takebe Yutaka¹⁾
1)AIDS Research Center, National Institute of Infectious
Diseases
2)Faculty of Medicine, University of Malaya, Kuala
Lumpur, Malaysia

- 148 HIV-1遺伝子組み換えにおけるサブタイプ
C LTRのselective advantage(選択優位性)
武部 豊¹⁾、Li Xiao-Jie¹⁾、Ma Yanling²⁾、
Xia Xueshan³⁾
1)国立感染症研究所 エイズ研究センター
2)雲南省CDC 3)昆明理工大

- 149 HIV-1スーパー感染とウイルスの個体内進化に
関する解析
武部 豊¹⁾、横田侑子¹⁾、小泉寛和²⁾、
Li Xiaojie¹⁾、滝口雅文²⁾、岡 慎一³⁾
1)国立感染症研究所 エイズ研究センター
2)熊本大学 エイズ学研究センター
3)国立国際医療センター エイズ治療開発センター

- 150 NRTI 耐性変異を示す複数遺伝子座の遺伝子頻
度の経時変化に対する組換えと自然選択の影響
椎野禎一郎¹⁾、佐藤裕徳²⁾、保科佳美¹⁾、
蜂谷敦子³⁾、岡 慎一³⁾、武部 豊¹⁾
1)国立感染症研究所 エイズ研究センター
2)国立感染症研究所 遺伝子解析室 3)国立国際医療センター

- 151 東北地方のHIV感染患者の臨床症状とウイルス
特性
宇佐美修¹⁾、肖 鵬¹⁾、斉藤弘樹¹⁾、芦野有悟¹⁾、
服部俊夫¹⁾、三木 祐²⁾、佐藤 功²⁾、
服部真一郎³⁾、仲宗根正³⁾、原 敬志³⁾
1)東北大学医学部 感染症呼吸器内科 2)仙台医療センター
3)国立感染症研究所

2 日 9:00~9:40	第1会場
28 薬物動態 1	
座長 花房 秀次 (荻窪病院感染症科)	

- 152 硫酸アタザナビルの至適血中濃度の検討
吉野宗宏¹⁾、永井聡子¹⁾、桑原 健¹⁾、下司有加²⁾、
織田幸子²⁾、笹川 淳³⁾、森 正彦³⁾、牧江俊雄³⁾、
長谷川善一³⁾、山本善彦³⁾、上平朝子³⁾、
白阪琢磨³⁾
1)独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 薬剤科
2)独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 看護部
3)独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 免疫感染症科
- 153 ATVの血中濃度測定が有用であった1症例
平野 淳、奥村直哉、高橋昌明
国立病院機構名古屋医療センター 薬剤科
- 154 LC-MS/MSによる細胞内EFV濃度の検討
田中理恵¹⁾、花房秀次²⁾、木内 英²⁾、根岸昌功³⁾、

加藤真吾¹⁾

1) 慶應義塾大学医学部 微生物学・免疫学教室
2) 荻窪病院 小児科 血液科 3) 都立駒込病院 感染症科

2) 大阪医療センター HIV/AIDS先端医療センター

3) 新潟大学医学部第2内科 4) 熊本大学エイズ学術研究センター
5) EFV study group

- 155 プロテアーゼ阻害薬7剤とエファビレンツの
同時血中濃度測定法の開発及びその臨床応用
高橋昌明¹⁾、伊部史朗²⁾、久高祐一¹⁾、奥村直哉¹⁾、
鈴木達男¹⁾、金田次弘²⁾

1) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター 薬剤科
2) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター

2 9:40~10:40 第1会場
29 薬物動態2

座長 桑原 健
(国立病院機構大阪医療センター)
湯永 博之
(国際医療センターエイズ治療・研究開発センター)

- 156 ホスアンプレナビルカルシウム水和物錠を日本
人健康成人男性に単回経口投与した時の薬物動
態に関する検討
深澤宣明、阿知波拓爾、伊藤博之、田中 憲、
福西左知、納田 茂、江川朝生、植地泰之、
永田 博
グラクソ・スミスクライン株式会社

- 157 当院における硫酸アタザナビルの血中濃度と
胃酸に関する検討
今村顕史、菅沼明彦、味澤 篤、根岸昌功
都立駒込病院 感染症科

- 158 AZTは血漿中及び細胞内において確かにd4Tに
変換される
加藤真吾¹⁾、田中理恵¹⁾、根岸昌功²⁾、木内 英³⁾、
花房秀次³⁾、杉浦 互⁴⁾
1) 慶應義塾大学医学部 微生物学・免疫学教室
2) 都立駒込病院 感染症科 3) 荻窪病院 小児科血液科
4) 国立感染症研究所 エイズ研究センター

- 159 ABCトランスポーター遺伝子の1塩基多型と
抗HIV薬の薬効の相関関係に関する研究
朱 大勇¹⁾、中村哲也²⁾、北村義浩¹⁾、岩本愛吉¹⁾
1) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター 感染症分野
2) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター 感染免疫内科

- 160 Nucleoside Reverse Transcriptase Inhibitor
(RTI) によるミトコンドリア毒性とヒトDNA
polymerase γ (POLG) の遺伝子点変異
山中ひかる¹⁾、湯永博之¹⁾、松岡佐織¹⁾、
Pope Kosalarakla²⁾、岡 慎一¹⁾、木村 哲¹⁾
1) 国立国際医療センター エイズ治療研究開発センター
2) Khon Kaen University

- 161 Efavirenzの血中濃度に関わる
cytochrome p450 2B6の遺伝子多型とその頻度
林田庸総¹⁾、湯永博之¹⁾、白阪琢磨²⁾、塚田弘樹³⁾、
松下修三⁴⁾、木村 哲¹⁾、岡 慎一¹⁾、
EFV study group⁵⁾
1) 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

2 16:50~18:10 第1会場
30 抗HIV療法1

座長 岡 慎一
(国際医療センターエイズ治療・研究開発センター)
白阪 琢磨
(国立病院機構大阪医療センター)

- 162 名古屋医療センターにおけるホスアンプレナビルの
初回治療での使用経験
奥村直哉¹⁾、平野 淳¹⁾、高橋昌明¹⁾、安岡 彰⁴⁾、
間宮均人²⁾、濱口元洋³⁾
1) 国立病院機構名古屋医療センター 薬剤科
2) 国立病院機構名古屋医療センター 感染症科
3) 国立病院機構名古屋医療センター 血液内科
4) 富山医科薬科大学感染予防医学 感染症治療部

- 163 HIVプロテアーゼ阻害剤アタザナビルの
臨床効果に関する検討
遠藤宗臣¹⁾、藤井 毅²⁾、小田原隆¹⁾、
後藤美江子²⁾、山田治美³⁾、中村哲也¹⁾、
岩本愛吉⁴⁾
1) 東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科
2) 東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野
3) 東京大学医科学研究所附属病院 薬剤部
4) 東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科、
東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野

- 164 当科におけるアタザナビル使用39例の検討
尾形享一、加藤宏基、清田育男、山中 晃、
山元泰之、福武勝幸、
東京医科大学 臨床検査医学講座

- 165 Atazanavirを含む抗HIV療法の1年間の
治療成績
源河いくみ、阿部泰尚、恩田順子、上田晃弘、
横田恭子、矢崎博久、田沼順子、本田美和子、
湯永博之、照屋勝治、立川夏夫、菊池 嘉、
岡 慎一、木村 哲
国立国際医療センター エイズ治療研究開発センター

- 166 ATV、TDF、3TCを用いた1日1回療法を
施行したHIV感染症の5例
高嶋能文、岡田直樹、奈良妙美、西尾信博、
堀越泰雄、三間屋純一
静岡県立こども病院 血液腫瘍科

- 167 当院における硫酸アタザナビル投与例について
の検討
高山義浩、小林智子、福岡俊也、小澤幸子、
岡田邦彦
佐久総合病院 総合診療科

- 168 AZT(zidovudine)400mgを含むHAART療法の
有効性の検討
立川夏夫、菊池 嘉、照屋勝治、源河いくみ、
湯永博之、本田美和子、矢崎博久、田沼順子、

上田晃弘、岡 慎一、木村 哲
国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

169 急性HIV感染者に対する

Structured Treatment Interruptions

田沼順子、恩田順子、阿部泰尚、横田恭子、
上田晃弘、矢崎博久、本田美和子、湯永博之、
源河いくみ、照屋勝治、立川夏夫、菊池 嘉、
岡慎一、木村 哲
国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

2 18:10~19:00

第1会場

31 抗 HIV 療法2

座長 中村 哲也
(東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科)

170 THE SMART (STRATEGIES FOR MANAGEMENT OF ANTI-RETROVIRAL THERAPY) STUDY ENROLMENT UPDATE

本田美和子¹⁾、Drummond F²⁾、
Poehlman Roediger M³⁾、田沼順子¹⁾、
源河いくみ¹⁾、湯永博之¹⁾、照屋勝治¹⁾、
立川夏夫¹⁾、菊池 嘉¹⁾、岡 慎一²⁾、木村 哲¹⁾
1) 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
2) National Centre in HIV Epidemiology and Clinical Research, Australia
3) University of Minnesota

171 血液製剤によるHIV感染者の調査成績 第1報 CD4値、HIV-RNA量と治療の現状と推移

白阪琢磨¹⁾、日笠 聡²⁾、岡 慎一³⁾、
川戸美由紀⁴⁾、吉崎和幸⁵⁾、木村 哲³⁾、
福武勝幸⁶⁾、橋本修二⁴⁾
1) 国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS先端医療開発センター
2) 兵庫医科大学 総合内科血栓止血老年病科
3) 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
4) 藤田保健衛生大学 医学部衛生学
5) 大阪大学健康体育部 健康医学第一部門
6) 東京医科大学 臨床検査医学

172 血液製剤によるHIV感染者の調査成績 第2報 投与歴を考慮したCD4値、HIV-RNA量と 治療の変更との関連性

川戸美由紀¹⁾、橋本修二¹⁾、岡 慎一²⁾、
吉崎和幸³⁾、木村 哲²⁾、福武勝幸⁴⁾、日笠 聡⁵⁾、
白阪琢磨⁶⁾
1) 藤田保健衛生大学医学部 衛生学
2) 国立国際医療センター病院 エイズ治療研究開発センター
3) 大阪大学健康体育部 健康医学第一部門
4) 東京医科大学 臨床検査医学
5) 兵庫医科大学 総合内科血栓止血老年病科
6) 国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS先端医療開発センター

173 慢性HIV感染例におけるHAART中断後の 臨床経過に関する検討

照屋勝治、恩田順子、阿部泰尚、横田恭子、
上田晃弘、矢崎博久、田沼順子、湯永博之、
本田美和子、源河いくみ、立川夏夫、菊池 嘉、
岡 慎一、木村 哲
国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

174 国内未承認エイズ治療薬等を用いた

HIV感染症治療薬及びHIV感染症至的治療法の 開発に係る応用研究

篠澤圭子¹⁾、山元泰之¹⁾、青木 眞²⁾、味澤 篤³⁾、
菊池 嘉⁴⁾、木村 哲⁴⁾、白阪琢磨⁵⁾、高田 昇⁶⁾、
花房秀次⁷⁾、三間屋純一⁸⁾、松宮輝彦⁹⁾、
福武勝幸¹⁾
1) 東京医科大学 臨床検査医学講座
2) サクラ精機(株)練馬センター 3) 東京都立駒込病院 感染症科
4) 国立国際医療センター エイズ治療研究開発センター
5) 国立大阪病院 総合内科 6) 広島大学医学部 輸血部
7) 荻窪病院 血液科 8) 静岡県立こども病院 血液腫瘍科
9) 東京医科大学 薬理学講座

2 9:00~10:10

第2会場

32 カウンセリング

座長 前田ひとみ
(宮崎大学医学部看護学科)
山中 京子
(大阪府立大学人間社会学部)

175 先端医療の心のケアに従事する臨床心理士の 実態調査 (第2報)

ー HIVカウンセリング体制再構築への提言ー
兒玉憲一¹⁾、内野悌司²⁾、奥田剛士¹⁾
1) 広島大学大学院 教育学研究科 2) 広島大学 保健管理センター

176 ピア・カウンセラーと専門カウンセラーの協働に 関する研究

内野悌司¹⁾、藤原良次²⁾、橋本則久²⁾、椎村和義²⁾、
平岡 毅³⁾、藤井玉恵⁴⁾、塚本弥生⁵⁾、藤井輝久⁶⁾
1) 広島大学保健管理センター 2) りょうちゃんず
3) 広島県立広島病院 4) 広島大学大学院 保健学研究科
5) 広島市立広島市民病院 6) 広島大学病院 輸血部

177 当院のHIV感染症患者における心理的支援への ニーズに関する分析

安尾利彦¹⁾、仲倉高広²⁾、白阪琢磨²⁾
1) 国立大阪医療センター、エイズ予防財団
2) 国立大阪医療センター

178 派遣カウンセリングの利用促進に関する研究 第1報：拠点病院医師によるエイズ派遣 カウンセラー制度の認知度、評価及び問題点

神谷昌枝¹⁾、石川雅子²⁾、井上洋士³⁾、
折井佳穂里¹⁾、加瀬まさよ⁴⁾、牧野麻由子⁵⁾、
西村輝明⁶⁾、児玉憲一⁷⁾、辻麻理子⁸⁾
1) 東京都福祉保健局 健康安全室 感染症対策課 エイズ対策係
2) 千葉県健康福祉部健康増進課 感染症対策室
3) 三重県立看護大学 成人看護学
4) 医療法人社団カレスアライアンス天使病院
5) 新潟県福祉保健部 健康対策課
6) 大阪府健康福祉部 感染症難病対策課
7) 広島大学大学院 教育学研究科
8) (独)国立病院機構九州医療センター 感染症対策課

179 派遣カウンセリングの利用促進に関する研究 第2報：拠点病院医師の今後利用したいサービス

神谷昌枝¹⁾、石川雅子²⁾、井上洋士³⁾、
折井佳穂里¹⁾、加瀬まさよ⁴⁾、牧野麻由子⁵⁾、

西村輝明⁶⁾、児玉憲一⁷⁾、辻麻理子⁸⁾

- 1) 東京都福祉保健局 健康安全室 感染症対策課 エイズ対策係
- 2) 千葉県健康福祉部 健康増進課 感染症対策室
- 3) 三重県立看護大学 成人看護学
- 4) 医療法人社団カレスアライアンス天使病院
- 5) 新潟県福祉保健部 健康対策課
- 6) 大阪府健康福祉部 感染症難病対策課
- 7) 広島大学大学院 教育学研究科
- 8) (独) 国立病院機構九州医療センター 感染症対策課

180 臨床心理学的アセスメントが治療に効果的に活かされた事例

仲倉高広¹⁾、安尾利彦¹⁾、鈴木葉子²⁾

- 1) 国立病院機構大阪医療センター
- 2) 滋賀県健康福祉部 健康対策課

181 内なる偏見差別を乗り越えて —他者による自己受容から自己による自己受容

菊池恵美子¹⁾、濱口元洋²⁾

- 1) 名古屋医療センター、財団法人エイズ予防財団
- 2) 名古屋医療センター

2 会	10:10～10:50	第2会場
33 薬害エイズ		
座長	白幡 聡	(産業医科大学小児科)

182 HIV 感染血液凝固異常症における 2003年6月1日から2004年5月31日までの 死亡報告について

：2004年度血液凝固異常症全国調査より

立浪 忍¹⁾、瀧 正志²⁾、桑原理恵³⁾、
浅原美恵子²⁾、白幡 聡⁴⁾、三間屋純一⁵⁾

- 1) 聖マリアンナ医科大学医学統計
- 2) 聖マリアンナ医科大学 小児科
- 3) 聖マリアンナ医科大学大学院アイソトープ研究施設
- 4) 産業医科大学 小児科
- 5) 静岡県立こども病院

183 薬害 HIV 感染被害者への面接調査 第1報：生存患者からの聞きとり

溝田友里¹⁾、井上洋士²⁾、山崎喜比古¹⁾、
清水由香³⁾、伊藤美樹子⁴⁾、関由起子⁵⁾、
若林チヒロ⁶⁾、的場智子⁷⁾、八巻知香子⁸⁾、
大平勝美⁹⁾、小山昇孝⁹⁾、後藤智巳⁹⁾、森戸克則⁹⁾

- 1) 東京大学大学院医学系研究科 健康社会学分野
- 2) 三重県立看護大学 看護学部
- 3) 大阪市立大学大学院 生活科学研究科
- 4) 大阪大学大学院 総合ヘルスプロモーション科学
- 5) 群馬大学医学部
- 6) 埼玉県立大学保健医療福祉学部
- 7) 東洋大学ライフデザイン学部
- 8) 日本学術振興会特別研究員
- 9) 薬害HIV感染被害者（患者・家族）生活実態調査委員会

184 薬害 HIV 感染被害者への面接調査 第2報：家族からの聞きとり

井上洋士¹⁾、溝田友里²⁾、山崎喜比古²⁾、
清水(丸山)由香³⁾、伊藤美樹子⁴⁾、江口依里⁴⁾、
関由起子⁵⁾、若林チヒロ⁶⁾、的場智子⁷⁾、
八巻(木村)知香子⁸⁾、大平勝美⁹⁾、小山昇孝⁹⁾、
後藤智巳⁹⁾、森戸克則⁹⁾

- 1) 三重県立看護大学看護学部 成人看護学
- 2) 東京大学大学院 医学系研究科 健康社会学
- 3) 大阪市立大学大学院 生活科学研究科

- 4) 大阪大学大学院 総合ヘルスプロモーション科学
- 5) 群馬大学医学部 保健学科
- 6) 埼玉県立大学保健医療福祉学部
- 7) 東洋大学ライフデザイン学部
- 8) 日本学術振興会特別研究員
- 9) 薬害HIV感染被害者（患者・家族）生活実態調査委員会

185 ピア・カウンセラーの意義と役割 —薬害エイズ被害者相談事業の経験から—

橋本則久、藤原良次、森戸克則、里仲佑仁、
今居 崇、花井十伍
大阪HIV薬害訴訟原告団

2 会	9:00～9:40	第3会場
34 歯科1		
座長	柿澤 卓	(東京歯科大学水道橋病院)

186 HIV 感染者に対する歯科診療体制整備に向けて —HIV 感染者へのアンケートより—

高木律男¹⁾、山中文正¹⁾、下条文武²⁾、塚田弘樹²⁾、
内山正子²⁾

- 1) 新潟大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面口腔外科学分野
- 2) 新潟大学医歯学総合病院 感染管理部

187 HIV 感染者に対する歯科診療体制整備に向けて —歯科医師へのアンケートより—

山中文正¹⁾、高木律男¹⁾、下条文武²⁾、塚田弘樹²⁾、
内山正子²⁾

- 1) 新潟大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面口腔外科学分野
- 2) 新潟大学医歯学総合病院 感染管理部

188 HIV 感染者における歯科医療の連携に関する 研究

吉川博政¹⁾、樋口勝規²⁾、田上 正³⁾、山口 泰⁴⁾

- 1) 国立病院機構九州医療センター 歯科口腔外科
- 2) 九州大学病院 口腔総合診療科
- 3) 国立国際医療センター 歯科口腔外科
- 4) 国立病院機構仙台医療センター 歯科口腔外科

189 HIV/AIDS 患者に対する外部歯科医療機関紹介 事例について

中野恵美子¹⁾、千綿かおる²⁾、島田 恵³⁾、
田上 正⁴⁾、岡 慎一³⁾、木村 哲³⁾

- 1) 国立国際医療センター財団法人エイズ予防財団リサーチ・レジデント
- 2) 筑波大学大学院人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学
- 3) 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
- 4) 国立国際医療センター 歯科口腔外科

2 会	9:40～10:50	第3会場
35 歯科2		
座長	前田 憲昭	(医療法人社団皓歯会)
	池田 正一	(神奈川歯科大学総合歯科学講座)

190 口腔内に初発したHIV関連悪性リンパ腫の1例 小林弥生¹⁾、筋生田整治¹⁾、茂木伸夫¹⁾、 味澤 篤²⁾

- 1) 東京都立駒込病院 歯科口腔外科
- 2) 東京都立駒込病院 感染症科

191 HAART後のHIV患者の線状歯肉紅班の 治癒所見の1例

池上由美子、千葉 緑、茂木伸夫
東京都立駒込病院 歯科口腔外科

192 出血傾向を呈したHIV感染症患者の観血的歯科 治療について -2例の症例報告-

上川善昭、杉原一正
鹿児島大学医学部 歯学部附属病院 口腔顎顔面センター 口腔外科

193 HIV医療の進歩にともなう口腔状態の変化 -1998年と2005年の比較調査-

千綿かおる¹⁾、中野恵美子²⁾、田上 正³⁾、
岡 慎一⁴⁾、木村 哲⁴⁾、武田 文¹⁾
1)筑波大学大学院人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学
2)財団法人エイズ予防財団リサーチ・レジデント
3)国立国際医療センター 歯科口腔外科
4)国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

194 唾液中のHIV-RNA測定方法の評価

前田憲昭¹⁾、加藤真吾²⁾、田中理恵²⁾、
池田正一¹⁾、樋口勝規¹⁾、柿澤 卓¹⁾、泉福英信¹⁾、
宇佐美雄司¹⁾
1)HIV感染症の歯科医療に関する研究
2)慶応義塾大学医学部 微生物学免疫学教室

195 HIV感染者の唾液中のHIV-RNA定量

田上 正、池田正一、小森康雄、高木律男、
宮田 勝、連 利隆、北川善政、山口 泰、
玉城廣保、吉野 宏
厚生科学研究費 HIV感染症の歯科医療に関する研究

196 HIV感染患者における唾液中TNF- α と口腔病変 に関する研究 -口腔病変に対するLF含嗽剤の 効果も含めて-

伊能智明¹⁾、小森康雄¹⁾、松田憲一¹⁾、高橋英俊¹⁾、
中島仁一¹⁾、千葉博茂¹⁾、泉福英信²⁾
1)東京医科大学 口腔外科学講座 2)国立感染症研究所

199 HIVインテグレーションにより発症したSTAT3関連 リンパ腫

片野晴隆¹⁾、佐藤由子¹⁾、星野聡美⁵⁾、立川夏夫²⁾、
岡 慎一²⁾、森下保幸³⁾、Rom William N⁵⁾、
森 茂郎⁴⁾、佐多徹太郎¹⁾、Weiden Micheal D⁵⁾、
星野仁彦⁵⁾
1)国立感染症研究所 感染病理部
2)国立国際医療センター ACC 3)東大医学部 病理
4)帝京大学 医学部病理
5)New York University School of Medicine

200 HIV関連リンパ腫における自己造血幹細胞採取 の経験

小池 満¹⁾、鈴木貴雄¹⁾、井上靖之¹⁾、山口洋子¹⁾、
小池 淳樹²⁾、杉浦 互³⁾、高橋正知¹⁾、
中島秀喜⁴⁾
1)聖マリアンナ医科大学医学部 内科学 血液・腫瘍内科
2)聖マリアンナ医科大学 病理学教室
3)国立感染症研究所 エイズ研究センター
4)聖マリアンナ医科大学 微生物学教室

201 GISTを合併したHIV感染者の治療経験

寺尾欣也¹⁾、井上 淳¹⁾、河野政志¹⁾、高田清武²⁾、
長谷川均¹⁾、安川正貴¹⁾、井門敬子³⁾
1)愛媛大学医学部 第一内科
2)愛媛大学医学部 総合臨床研修センター
3)愛媛大学医学部附属病院 薬剤部

2金 17:40~18:40

第3会場

37 合併症2

座長 内海 眞
(高山厚生病院)
菊池 嘉
(国際医療センターエイズ治療・研究開発センター)

202 結核性胸膜炎と脊椎カリエスを発症した2症例

竹下 望、味澤 篤、柳澤如樹、八木敦子、
菅沼明彦、今村顕史、根岸昌功
東京都立駒込病院 感染症科

203 肺結核、緑膿菌肺炎を合併して急速に進行し 死亡した初感染HIVの1例

木村 剛¹⁾、竹内広史¹⁾、小河原光正²⁾、
鈴木克洋¹⁾、坂谷光則¹⁾
1)国立病院機構近畿中央胸部疾患センター
2)国立病院機構大阪医療センター

204 HIV感染症、慢性B型肝炎に多発性筋炎を 合併した1例

白野倫徳、高田由紀子、後藤哲志、阪上賀洋
大阪市立総合医療センター 感染症センター

205 HAART経過中に大球性貧血を認めたAIDSの 1例

河村一郎、渡邊 篤
安城更生病院

206 血小板減少症の合併に対しステロイド治療が 奏効したHIV/HBV/HCV重複感染血友病Aの1例

岩尾憲明¹⁾、東梅友美¹⁾、太田秀一²⁾、田中淳司¹⁾、

2金 16:50~17:40

第3会場

36 合併症1

座長 松下 修三
(熊本大学エイズ学研究センター)

197 出血型もやもや病を合併したHIV母子感染の1例

保田典子¹⁾、三留よしな¹⁾、野崎成功真¹⁾、
山中純子¹⁾、早川依里子¹⁾、福山由美³⁾、
大金美和²⁾、山中ひかる²⁾、照屋勝治²⁾、
菊池 嘉²⁾、岡 慎一²⁾、國方徹也¹⁾、木村 哲²⁾
1)国立国際医療センター 小児科
2)国立国際医療センター エイズ治療研究開発センター
3)元国立国際医療センター エイズ治療研究開発センター

198 HAART開始後に進行の止まった中枢神経系 lymphomatoid granulomatosis症例

小田原隆、遠藤宗臣、松村武史、前田卓哉、
藤井 毅、中村哲也、岩本愛吉
東京大学医科学研究所附属病院

今村雅寛¹⁾

1)北海道大学 血液内科 2)北海道大学 第3内科

207 ネフローゼ症候群を来した多剤耐性HIV感染症例に対するTDFの使用経験

坂上亜希子¹⁾、鈴木信明²⁾、太田求磨²⁾、田邊嘉也²⁾、西堀武明²⁾、竹田徹朗³⁾、塚田弘樹²⁾、下条文武²⁾

1)信楽園病院呼 吸器内科

2)新潟大学大学院 医歯学総合研究科 内部環境医学講座 (第二内科)

3)新潟大学大学院 医歯学総合研究科 機能分子医学寄付講座

2金 9:00~10:00

第4会場

38 新規薬剤 1

座長 西澤 雅子

(国立感染症研究所エイズ研究センター)

岡本 実佳

(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科)

208 水溶性C34誘導体の抗HIV効果

児玉栄一¹⁾、梶原慶子¹⁾、大高 章³⁾、藤井信孝²⁾、松岡雅雄¹⁾

1)京都大学 ウイルス研究所 2)京都大学大学院 薬学研究科

3)徳島大学大学院 薬科学教育部

209 アニリド系CCR5拮抗薬TAK-652の抗HIV-1効果

馬場昌範¹⁾、神崎直之²⁾、王 欣¹⁾、高島勝典²⁾

1)鹿児島大学大学院医歯学総合研究科附属難治ウイルス病態制御研究センター

2)武田薬品工業株式会社医薬研究本部

210 ピペリジン系CCR5拮抗薬TAK-220の抗HIV-1効果

高島勝典¹⁾、神崎直之¹⁾、王 欣²⁾、馬場昌範²⁾

1)武田薬品工業株式会社医薬研究本部

2)鹿児島大学大学院医歯学総合研究科附属難治ウイルス病態制御研究センター

211 新規HIV-1感染阻害剤TAK-220の感染阻害に必要なCCR5の構造

西川正雄¹⁾、高島勝典²⁾、古田里佳¹⁾、神崎直之²⁾、藤澤順一¹⁾

1)関西医科大学微生物学講座

2)武田薬品工業(株)医薬研究本部

212 CCR5-YFP発現UM細胞を用いたCCR5阻害剤のCCR5への影響の検討

鎌田和加子、中田浩智、青木宏美、関 康博、宮川寿一、満屋裕明

熊本大学大学院 医学薬学研究部 血液内科学・感染免疫診療部

213 MTT法を用いたCXCR4及びCCR5トロピックHIV-1に対する薬剤感受性試験法

梶原慶子、児玉栄一、松岡雅雄

京都大学ウイルス研究所附属エイズ研究施設 感染免疫研究領域

2金 10:00~10:50

第4会場

39 新規薬剤 2

座長 児玉 栄一

(京都大学ウイルス学研究所)

214 Cyclopentanyltetrahydrofuran(Cp-THF)構造を有する新規のプロテアーゼ阻害剤 UIC02031(031)の耐性化機序の解析

関 康博¹⁾、中田浩智¹⁾、青木宏美¹⁾、中山麻紀¹⁾、Arun Ghosh²⁾、満屋裕明¹⁾

1)熊本大学医学薬学研究部 血液内科・感染免疫診療部

2)University Illinois at Chicago

215 新規のプロテアーゼ阻害剤UIC-98065の同定と抗HIV-1活性の検討

天野将之¹⁾、関 康博¹⁾、Arun Ghosh²⁾、満屋裕明¹⁾

1)熊本大学大学院医学薬学研究部 血液内科学・感染免疫診療部

2)Department of Chemistry, University of Illinois at Chicago

216 Tetrahydrofuranylglycineを導入した高活性HIVプロテアーゼ阻害剤の開発

日高興士¹⁾、木村 徹¹⁾、

Rajesh Sankaranarayanan¹⁾、Jun Wang¹⁾、

Keith F. McDaniel²⁾、Tatyana Dekhtyar²⁾、

Lynn Colletti²⁾、林 良雄¹⁾、木曾良明¹⁾

1)京都薬科大学・創薬科学フロンティア研究センター 薬品化学教室 21世紀COEプログラム

2)Abbott Laboratories

217 核酸系逆転写酵素阻害剤

4'-ethynyl-2'-halo-deoxyadenosine誘導体の耐性HIV複製阻害活性の検討

川本敦司¹⁾、児玉栄一¹⁾、大類 洋²⁾、満屋裕明³⁾、

松岡雅雄¹⁾

1)京都大学ウイルス研究所附属エイズ研究施設 感染免疫研究領域

2)東北大学大学院 生命科学研究科 農学部

3)熊本大学大学院 医学薬学研究部 血液内科

218 核酸系逆転写酵素阻害剤：

2'-Deoxy-4'-C-ethynyl-2'-fluoro-adenosine (E2FdA)の細胞内動態の検討

中田浩智¹⁾、天野将之¹⁾、関 康博¹⁾、児玉栄一²⁾、

Guangwei Yang³⁾、向後 悟⁴⁾、早川弘之⁴⁾、

大類 洋⁵⁾、松岡雅雄²⁾、Yun-Chi Chen³⁾、

満屋裕明¹⁾

1)熊本大学医学部 免疫病態学 (第二内科)

2)京都大学ウイルス研究所 3)Yale大学医学部 薬理学

4)ヤマサ醤油 薬品化学研究室

5)東北大学農学部 生体分子分析学

2金 16:50~17:40

第4会場

40 治療法開発 1

座長 古田 里佳

(関西医科大学微生物学講座)

219 R5臨床分離株を中和可能なヒト化抗HIV-1モノクローナル抗体 (KD-247) の開発

村上利夫¹⁾、滝澤万里²⁾、前田敏宏¹⁾、松下修三³⁾、
本多三男²⁾

1) 舩化学及血清療法研究所 2) 国立感染症研究所
3) 熊本大学 エイズ学研究センター

220 ELISA法によるHIV-1 Vprとimportin α との結合の測定とその結合阻害剤の探索

鈴木辰徳、松田 剛、間 陽子
理化学研究所 分子ウイルス学研究ユニット

221 新規NF- κ B阻害剤DHMEQによるHIV-1増殖抑制効果の検討

三宅在子¹⁾、石田尚臣¹⁾、堀江良一²⁾、梅沢一夫³⁾、
渡邊俊樹¹⁾

1) 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 病態医療科学分野
2) 北里大学医学部 第4内科 3) 慶應義塾大学理工学部

222 Anti HIV-1 activity of synthetic polyoxotungstates

Matsui Kiyohiko¹⁾、Yamase Toshihiro²⁾、
Kobiyama Kouji¹⁾、Sukumar Saha¹⁾、
Ke-Qin Xin¹⁾、Takeshita Fumihiko¹⁾、
Toda Sumako¹⁾、Okuda Kenji¹⁾

1) Department of Bacteriology, Yokohama City University School of Medicine.
2) Chemical Resources Laboratory, Tokyo Institute of Technology.

223 HIV感染応答性遺伝子放出キャリアーによるHIV遺伝子治療法の開発

児玉耕太¹⁾、浅井大輔²⁾、Kang Jeong-Hun²⁾、
新留琢郎³⁾、片山佳樹³⁾、東海林洋子⁴⁾、
中島秀喜⁴⁾

1) 岐阜大学人獣感染防御センター 2) JST・CREST
3) 九州大学工学部応用化学 4) 聖マリアンナ医科大学微生物

2金 17:40~18:20 第4会場 41 治療法開発2

座長 村上 努
(国立感染症研究所エイズ研究センター)

224 shRNAによるHIV-1複製阻害と逃避変異ウイルスの解析

西辻裕紀、久保 誠、林 隆也、神奈木真理、
増田貴夫
東京医科歯科大学大学院 歯学総合研究科 免疫治療学

225 RNAi耐性HIV-1株に対処する第2世代のRNAi製剤

羽生勇一郎¹⁾、Jacob Barnor⁵⁾、黒崎直子³⁾、
米田和弘²⁾、山口和也²⁾、石川晃一⁴⁾、山本直樹⁴⁾、
David Ofori-Adjei⁵⁾、高久 洋³⁾

1) 財団法人エイズ予防財団、千葉工業大学ハitekリサーチセンター
2) 千葉工業大学工学部 生命環境科学科
3) 千葉工業大学工学部 生命環境科学科、千葉工業大学ハitekリサーチセンター
4) 国立感染症研究所 エイズ研究センター
5) 野口記念医学研究所

226 HIV-1 non-coding領域(DIS)を標的としたshRNAによる抗HIV-1活性の検討

大成亜季¹⁾、黒崎直子²⁾、高久 洋²⁾

1) 千葉工業大学工学部 生命環境科学科
2) 千葉工業大学 ハitekリサーチセンター

227 エイズウイルス感染細胞を標的とし攻撃する新規組換えウイルスベクター

大隈 和、吉田篤司、田中礼子、田中勇悦
琉球大学大学院医学研究科 免疫学分野

2金 18:20~19:10 第4会場 42 ワクチン1

座長 仲宗根 正
(国立感染症研究所エイズ研究センター)

228 HLA-A2 transgenic miceにおける抗原特異的CTLの認識パターンの相違から得られる次世代型HIVワクチン開発の可能性の検討

岡崎貴裕
聖マリアンナ医科大学 リウマチ膠原病アレルギー内科

229 AAV5 Serotype Induces Strong HIV-1-specific Immune Responses Compared to Other AAV Serotypes

Ke-QinXin、松井清彦、武下文彦、佐々木津、
奥田研爾
横浜市立大学医学部分子生体防御学

230 Induction of HIV-1 specific immunoresponses by HIV-1 antigen-loaded biodegradable nanoparticles and its mechanism

WANG XIN、Uto Tomofumi、Baba Masanori
Division of Antiviral Chemotherapy, Center for Chronic Viral Diseases, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Kagoshima University and CREST

231 リコンビナントDIsワクチンの経皮接種による粘膜免疫誘導

吉野直人¹⁾、兼清 優²⁾、萩原由加利³⁾、
染谷健二⁴⁾、松尾和浩²⁾、網 康至⁵⁾、佐藤成大¹⁾、
山本直樹²⁾、本多三男²⁾

1) 岩手医科大学医学部
2) 国立感染症研究所 エイズ研究センター
3) 北里研究所 生物製剤研究所
4) 国立感染症研究所 ウイルス第三部
5) 国立感染症研究所 動物管理室

232 修飾型HIV Env発現ワクシニアDIsによる抗HIV抗体誘導について

岡村智崇¹⁾、松尾和浩¹⁾、兼清 優¹⁾、堀端重男¹⁾、
長谷川篤彦²⁾、山本直樹¹⁾、本多三男¹⁾

1) 国立感染症研究所 2) 日本大学大学院 獣医学研究科

2金 19:10～20:00 第4会場
43 ワクチン2

座長 馬場 昌範
(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科)

233 ウイルス特異的CD4 + T細胞免疫誘導のための Sendai virus vectorを用いた CD4+T細胞エピトープ発現系の開発

森 一泰¹⁾、杉本智恵³⁾、中山英美⁴⁾、塩田達雄⁴⁾、保富康宏⁵⁾、山本直樹²⁾

1)医薬基盤研究所 豊長類医科学研究センター
2)国立感染症研究所 エイズ研究センター
3)科学技術振興機構CREST 4)大阪大 微生物病研究所
5)三重大学医学部

234 Human CCR5 を基にした環状抗原の免疫により得られたカニクイザル抗血清の macaque CCR5 に対する交差反応性の検討

徳永恵一¹⁾、中山大介¹⁾、三隅将吾¹⁾、仲宗根正²⁾、向井鏡三郎²⁾、橘 囃臣³⁾、梅田 衛³⁾、柴田英昭³⁾、高宗暢暁¹⁾、庄司省三¹⁾

1)熊大院 医薬 薬学生化学 2)国立感染症研 筑波 3)日水製薬

235 ワクチンによるSIV複製の初期制御後、CTL エスケープ変異の蓄積により複製能低下にもかかわらず再出現したウイルス血症

川田真幹¹⁾、俣野哲朗²⁾

1)東京大学大学院医学系研究科 内科学専攻 生体防御感染症学
2)東京大学大学院医学系研究科 病因病理学専攻 微生物学

236 nef 欠損弱毒SHIVのワクチン効果に対する rIFN-γ投与の増強効果

兼安健太郎¹⁾、伊吹謙太郎¹⁾、大倉定之¹⁾、姫野 愛¹⁾、喜多正和²⁾、山本俊郎²⁾、佐藤彰彦³⁾、三浦智行¹⁾、速水正憲¹⁾

1)京都大学ウイルス研究所 感染症モデル研究センター 豊長類モデル研究領域
2)京都府立医科大学 微生物学教室
3)塩野義製薬(株) 医科学研究所

237 ヒト免疫不全ウイルス感染症に対する特異的免疫療法と計画的抗ウイルス薬の中断 (臨床的解析)

井出冬章¹⁾、富澤麻利子¹⁾、立川 愛¹⁾、小田原隆²⁾、細谷紀彰¹⁾、中村哲也²⁾、岩本愛吉¹⁾

1)東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野
2)東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科

3金 9:00～10:00 第1会場
44 副作用1

座長 山元 泰之
(東京医科大学臨床検査医学)
立川 夏夫
(国際医療センターエイズ治療・研究開発センター)

238 stavudine (d4T) 投与後の高脂血症の出現頻度に関する検討

福島篤仁、太田康男、北沢貴利、塚田訓久、

奥川 周、川田真幹、小池和彦
東京大学医学部附属病院 感染症内科

239 Ritonavirの血液凝固に及ぼす影響

日笠 聡、角田ちゆよ、丸茂幹雄、澤田暁宏、徳川多津子、常見 幸、垣下榮三

兵庫医科大学 血液内科

240 HIV感染者の動脈硬化とレムナントリポ蛋白との関連

古西 満、善本英一郎、宇野健司、笠原 敬、三笠桂一

奈良県立医科大学 感染症センター

241 抗HIV療法の脂質代謝に及ぼす影響～当院での検討

藤本勝也¹⁾、橋野 聡²⁾、佐藤典宏³⁾、山本 聡¹⁾、西尾充史¹⁾、大野稔子⁴⁾、渡部恵子⁴⁾、田中淳司⁵⁾、今村雅寛⁵⁾、浅香正博²⁾、小池隆夫¹⁾

1)北海道大学大学院医学研究科 病態内科学講座 免疫・代謝内科学分野 (第二内科)
2)北海道大学大学院医学研究科 病態内科学講座 消化器内科学分野 (第三内科)
3)北海道大学病院 輸血部
4)北海道大学病院 看護部
5)北海道大学大学院 医学研究科 癌診断治療学講座 血液内科学分野

242 アタザナビル投与時の肝機能および各種代謝マーカーに及ぼす影響

平井愛山¹⁾、向後謙二²⁾

1)千葉県立東金病院 内科 2)千葉県立東金病院 薬剤部

243 HIV感染症に対するエムトリシタビン投与による安全性と皮膚変色発現に関する検討

山元泰之¹⁾、山中 晃¹⁾、天野景裕¹⁾、福武勝幸¹⁾、坪井良治²⁾、入澤亮吉²⁾、斉藤万寿吉²⁾、中村哲也³⁾、根岸昌功⁴⁾、白阪琢磨⁵⁾

1)東京医科大学 臨床検査医学講座
2)東京医科大学 皮膚科学講座 3)東京大学医科学研究所附属病院
4)東京都立駒込病院
5)独立行政法人国立病院機構大阪医療センター

3金 10:00～10:50 第1会場
45 副作用2

座長 今村 顕史
(東京都立駒込病院感染症科)

244 Enfuvirtide (Fuzeon™) を使用し、局所反応 (ISRs) の為に治療継続困難となった1症例

内田泰斗、山元泰之、篠沢圭子、大瀧 学、福武勝幸

東京医科大学病院 臨床検査医学科、厚生労働省エイズ治療薬研究班

245 LPV/r内服患者における徐脈性不整脈

上田晃弘、阿部泰尚、恩田順子、横田恭子、田沼順子、矢崎博久、本田美和子、湯永博之、源河いくみ、照屋勝治、立川夏夫、菊池 嘉、岡 慎一、木村 哲、

国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

246 Tenofovir disoproxil fumarate 投与と尿中 β 2-microglobulin

湯永博之、立川夏夫、菊池 嘉、照屋勝治、源河いくみ、本田美和子、田沼順子、矢崎博久、上田晃弘、阿部泰尚、横田恭子、恩田順子、木村 哲、岡 慎一、
国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

247 フマル酸テノホビルジプロキシルの血中濃度とクレアチニンの関係

永井聡子¹⁾、吉野宗宏¹⁾、桑原 健¹⁾、下司有加²⁾、織田幸子²⁾、笹川 淳³⁾、森 正彦³⁾、長谷川善一³⁾、牧江俊雄³⁾、山本善彦³⁾、上平朝子³⁾、白阪琢磨³⁾
1) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 薬剤科
2) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 看護部
3) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 免疫感染症科

248 Tenofovir長期投与における腎毒性の評価と対応

木内 英、小島賢一、和田育子、太田未緒、花房秀次
荻窪病院

3日 10:50~12:00 第1会場 46 服薬アドヒアランス 1

座長 日笠 聡
(兵庫医科大学血液内科)
池田 和子
(国際医療センターエイズ治療・研究開発センター)

249 服薬援助のための基礎的調査 ー抗HIV薬の薬剤変更状況調査(2005年)ー

小島賢一¹⁾、桑原 健³⁾、乃村万里²⁾、日笠 聡³⁾、堀 成美²⁾、山元泰之¹⁾
1) 東京HIV診療ネットワーク 2) HIV/AIDS看護研究会
3) 関西HIV臨床カンファレンス

250 服薬援助のための基礎的調査 ー抗HIV薬の組み合わせ調査(2005年)ー

日笠 聡¹⁾、桑原 健¹⁾、小島賢一²⁾、乃村万里³⁾、堀 成美³⁾、山元泰之²⁾
1) 関西HIV臨床カンファレンス 2) 東京HIV診療ネットワーク
3) HIV/AIDS看護学会

251 拠点病院における抗HIV療法と薬剤関連アンケート調査結果(第2報)

桑原 健¹⁾、吉野宗宏¹⁾、佐野俊彦²⁾、小島賢一³⁾、日笠 聡⁴⁾、白阪琢磨⁵⁾
1) 国立病院機構大阪医療センター 薬剤科
2) 東京都立駒込病院 薬剤科 3) 荻窪病院 血液科
4) 兵庫医科大学総合内科
5) 国立病院機構大阪医療センター 免疫感染症科

252 当センターにおける新規抗HIV療法の変遷について

矢崎博久、恩田順子、阿部泰久、上田晃弘、横田恭子、田沼順子、本田美和子、湯永博之、源河いくみ、照屋勝治、立川夏夫、菊池 嘉、岡 慎一、木村 哲

国立国際医療センター エイズ治療研究開発センター

253 名古屋医療センターでのHAARTにおける1日1回服用法の現状

奥村直哉¹⁾、平野 淳¹⁾、高橋昌明¹⁾、安岡 彰⁴⁾、間宮均人²⁾、濱口元洋³⁾
1) 国立病院機構名古屋医療センター 薬剤科
2) 国立病院機構名古屋医療センター 感染症科
3) 国立病院機構名古屋医療センター 血液内科
4) 富山医科薬科大学感染予防医学／感染症治療部

254 アルコール含有抗HIV薬の適切な情報提供について

野毛一郎¹⁾、鈴木賢一¹⁾、加藤有希¹⁾、吉田康秀²⁾
1) 沼津市立病院 薬剤部 2) 沼津市立病院 呼吸器科

255 HAART導入に関与した「いきなりエイズ」2症例の臨床経過

陣田さつき¹⁾、森 尚義¹⁾、内藤雅大²⁾、藤原篤司²⁾、谷口晴記³⁾
1) 三重県立総合医療センター 薬剤部
2) 三重県立総合医療センター 呼吸器科
3) 三重県立総合医療センター 産婦人科

3日 12:00~12:40 第1会場 47 服薬アドヒアランス 2

座長 織田 幸子
(国立病院機構大阪医療センター)

256 チームとしてのHIV診療における薬剤師のかかわりー服薬支援を中心としたかかわりー

山田 徹¹⁾、藤澤真奈美¹⁾、内藤厚子²⁾、吉川博子³⁾
1) 新潟市民病院 薬剤部 2) 新潟市民病院 看護部
3) 新潟市民病院 感染症科

257 服薬中止症例の経過ー患者QOL向上の可能性ー

吉川博子¹⁾、内藤厚子²⁾、山田 徹³⁾、藤澤真奈美³⁾
1) 新潟市民病院 感染症科 2) 新潟市民病院 看護部
3) 新潟市民病院 薬剤部

258 当センター成人患者におけるMDOT (Modified Directly Observed Therapy)の検討

池田和子¹⁾、山田由紀¹⁾、武田謙治¹⁾、大金美和¹⁾、畑中祐子¹⁾、石垣今日子²⁾、島田 恵¹⁾、岡 慎一¹⁾、木村 哲¹⁾
1) 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
2) エイズ予防財団

259 抗HIV療法を行う患者の外来支援に関するプロトコルの改訂に関する検討

島田 恵¹⁾、今井敦子²⁾、内山正子²⁾、山田三枝子³⁾、山下郁江³⁾、人見公代⁴⁾、星屋寿賀子⁵⁾、大金美和¹⁾、池田和子¹⁾、数間恵子⁶⁾、川村佐和子⁷⁾
1) 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
2) 新潟大学医学部総合病院 3) 石川県立中央病院
4) 国立病院機構東埼玉病院 5) 自衛隊中央病院 6) 東京大学
7) 青森県立保健大学

3日 9:00～9:50 第2会場
48 臨床疫学

座長 木村 博和
(横浜市南福祉保健センター)

260 当院における新規受診者の検討

小池 満¹⁾、高橋正知¹⁾、井上靖之¹⁾、山口洋子¹⁾、
杉浦 互²⁾、中島秀喜³⁾

1) 聖マリアンナ医科大学医学部 内科学 血液・腫瘍内科
2) 国立感染症研究所 エイズ研究センター
3) 聖マリアンナ医科大学 微生物学教室

**261 当院において60歳以上で初診となった
HIV感染者の臨床的検討**

棟方 理、今村顕史、味澤 篤、菅沼明彦、
根岸昌巧
東京都立駒込病院

**262 東京都南新宿検査・相談室における
同性間性的接触の受検者像**

上野泰弘¹⁾、増田和貴¹⁾、山口 剛²⁾、
白木きよみ¹⁾、飯田真美¹⁾、稲垣智一¹⁾、
湯藤 進³⁾

1) 東京都福祉保健局 健康安全室 感染症対策課
2) 東京都南新宿検査・相談室 3) 東京都医師会

**263 日本人HIV感染者における感染判明時の
CD4数と患者特性、抗体検査を受けた状況、
既往歴との関連**

高野 操¹⁾、池田和子²⁾、大金美和²⁾、島田 恵²⁾、
岡田昌史³⁾、岡 慎一²⁾、木村 哲²⁾、
我妻ゆき子³⁾

1) 筑波大学大学院 人間総合科学研究科
2) 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
3) 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 (社会医学系)

**264 タイ北部山岳民族の薬物使用とタイ社会との
接触について**

小堀米子、木原雅子、木原正博
京都大学大学院 医学研究科 国際保健学講座 社会疫学分野

3日 11:30～12:50 第2会場
49 HIV 感染者支援

座長 生島 嗣
(特定非営利活動法人ぶれいす東京)
幸 史子
(熊本大学医学部附属病院看護部)

**265 地方都市におけるPWH/Aを中心としたSG
(サポートグループ)のあり方についての考察**

藤原良次¹⁾、橋本則久¹⁾、椎村和義¹⁾、平岡 毅²⁾、
藤井宝恵³⁾、木下一枝⁴⁾、内野悌司⁵⁾

1) りょうちゃんず 2) 県立広島病院 地域連携課
3) 広島大学大学院 保健学研究科 4) 広島大学病院 看護部
5) 広島大学保健管理センター

**266 告知後6ヶ月以内のHIV陽性者支援を目的とした
ピア・グループ・ミーティング(PGM)の効果
評価アンケート開発ー活動報告ー**

大内幸恵、矢島 嵩
NPO法人ぶれいす東京

**267 HIV感染告知後のHIV感染者の心理・行動面の
変化と特徴(その1)**

ー告知の受け止めと生活上の困難ー

井上洋士¹⁾、清水茂徳²⁾、藤本悦男³⁾

1) 三重県立看護大学 成人看護学
2) 東洋大学大学院 社会学研究科
3) ライフ・エイズ・プロジェクト (LAP)

**268 HIV感染告知後のHIV感染者の心理・行動面の
変化と特徴(その2)**

ー告知後の変化と関連要因ー

清水茂徳¹⁾、藤本悦男²⁾、井上洋士³⁾

1) 東洋大学大学院 社会学研究科
2) ライフ・エイズ・プロジェクト (LAP)
3) 三重県立看護大学 成人看護学

269 HIV陽性者のストレスに関するweb調査

生島 嗣¹⁾、野坂祐子³⁾、矢島 嵩¹⁾、長谷川博²⁾

1) ぶれいす東京 2) JaNP+ 3) 大阪教育大学

**270 バディ派遣サービスの利用者のニーズに関する
考察**

牧原信也¹⁾、生島 嗣²⁾、福原寿弥²⁾、
池上千寿子²⁾

1) エイズ予防財団リサーチレジデント
2) 特定非営利活動法人ぶれいす東京

**271 HIV感染者向けのセックスライフ・ハンドブック
作成の試み**

井上洋士¹⁾、村上未知子²⁾、有馬美奈³⁾、
市橋恵子⁴⁾、岩本愛吉¹⁾、大野稔子⁵⁾、山元泰之⁶⁾、
関由起子⁷⁾、山崎喜比古⁸⁾、市川誠一⁹⁾、
木原正博¹⁰⁾

1) 三重県立看護大学 看護学部 成人看護学
2) 東京大学医科学研究所 3) 東京都立駒込病院
4) 訪問看護ステーション堂山 5) 北海道大学病院
6) 東京医科大学 臨床検査医学 7) 群馬大学医学部 保健学科
8) 東京大学大学院 医学系研究科健康社会学
9) 名古屋市立大学大学院 看護学研究科
10) 京都大学大学院 医学研究科 国際保健学

**272 兵庫医科大学病院における「制度のてびき」
作成の意義と課題**

伊賀陽子¹⁾、野村裕美²⁾

1) 兵庫医科大学病院 医療社会福祉部 2) 同志社大学 社会学部

3日 9:00～10:00 第3会場
50 母子感染

座長 稲葉 憲之
(独協医科大学産科婦人科学)
戸谷 良造
(医和合病院)

273 我が国におけるHIV母子感染の現況

ー小児科施設への全国アンケート調査からー

大場 悟¹⁾、外川正生²⁾、葛西健郎²⁾、國方徹也²⁾、
吉野直人²⁾、井村総一²⁾、戸谷良造²⁾、喜多恒和²⁾、

和田裕一²⁾、塚原優己²⁾、稲葉憲之²⁾

1) 聖隷三方原病院 小児科

2) 平成17年度厚生労働科学研究費補助金「HIV感染妊婦の早期発見と治療および母子感染予防に関する臨床的・疫学的研究」班、分担研究「HIV感染妊婦より出生した児の実態調査とその解析」班

274 当院におけるHIV母子感染予防の現状について

浅野智子¹⁾、上平朝子²⁾、下司有加¹⁾、織田幸子¹⁾、白阪琢磨²⁾

1) 独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 看護部

2) 独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 免疫感染症科

275 本邦におけるHIV感染妊娠の発生と母子感染予防対策の現状

喜多恒和¹⁾、吉野直人²⁾、和田裕一²⁾、外川正生²⁾、塚原優己²⁾、箕浦茂樹²⁾、谷口晴記²⁾、戸谷良造²⁾、稲葉憲之²⁾

1) 防衛医科大学校 産婦人科

2) 平成17年度厚生労働科学研究費補助金「HIV感染妊婦の早期診断と治療及び母子感染予防に関する臨床的・疫学的研究」班

276 母子感染予防法の改善

木内 英¹⁾、花房秀次¹⁾、小島賢一¹⁾、和田育子¹⁾、太田未緒¹⁾、加藤真吾²⁾、田中理恵²⁾、築地謙治²⁾

1) 荻窪病院 血液科 2) 慶應義塾大学医学部 微生物学免疫学教室

277 妊婦における頸管粘液中HIV-1ウイルス量測定の意義

大島教子¹⁾、Deshratn Asthana²⁾、岡崎隆行¹⁾、太田順子¹⁾、稲葉憲之¹⁾

1) 獨協医科大学 産科婦人科 2) マイアミ大学

278 ベトナムにおけるHIV母子感染の分子疫学

柳生文宏、Trin Duy Quang、牛島廣治

東京大学大学院医学系研究科 発達医学教室

3日 10:00～11:20	第3会場
51 検査	

座長 加藤 真吾

(慶應義塾大学医学部)

金田 次弘

(国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター)

279 新しい抗原抗体同時検出キットの検討およびHIVスクリーニング追加検査への応用

嶋 貴子¹⁾、近藤真規子¹⁾、須藤弘二¹⁾、関田和代²⁾、永田明義²⁾、吉尾 弘³⁾、相楽裕子⁴⁾、今井光信¹⁾

1) 神奈川県衛生研究所 2) 保健科学研究所 3) 吉尾産婦人科医院

4) 横浜州市市民病院

280 妊婦HIVスクリーニング検査の偽陽性に関する前方視的検討

嶋 貴子¹⁾、今井光信¹⁾、山田里佳²⁾、谷口晴記³⁾、源河いくみ⁴⁾、大金美和⁴⁾、川戸美由紀⁵⁾、塚原優己⁶⁾、稲葉憲之⁷⁾

1) 神奈川県衛生研究所 2) 金沢大学医学部

3) 三重県立総合医療センター

4) 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

5) 藤田保健衛生大学医学部 6) 国立成育医療センター

7) 獨協医科大学

281 判定保留HIV-1抗体確認検査で確定し得ないとき

山元泰之¹⁾、山中 晃¹⁾、内田泰斗¹⁾、

尾形享一¹⁾、福武勝幸¹⁾、杉浦 亙²⁾

1) 東京医科大学 臨床検査医学科

2) 国立感染症研究所 エイズ研究センター

282 HIV-1 RNA定量キットのコントロールサーベイ

加藤真吾¹⁾、田中理恵¹⁾、瀬尾麻美²⁾、林 邦彦²⁾、今井光信³⁾

1) 慶應義塾大学医学部 微生物学・免疫学教室

2) ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

3) 神奈川県立衛生研究所

283 B、CRF01_AEを含む複数のサブタイプのHIV-1定量法の確立

水野善文¹⁾、永井裕美¹⁾、加堂真由¹⁾、渡辺朝子¹⁾、森下高行²⁾、山本直彦³⁾、伊部史朗¹⁾、重見 麗¹⁾、

藤崎誠一郎¹⁾、稲田頼太郎⁴⁾、金田次弘¹⁾

1) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター

2) 愛知県食品衛生検査所 3) 名古屋大学大学院 医学系研究科

4) セントルークス・ルーズベルト病院

284 各種サブタイプに対応できるReal-time PCR法によるHIV-1プロウイルスの定量法の検討

近藤真規子¹⁾、須藤弘二²⁾、田中理恵³⁾、嶋 貴子¹⁾、足立拓也⁴⁾、相楽裕子⁴⁾、岩室紳也⁵⁾、

向出雅一⁶⁾、武部 豊⁷⁾、加藤真吾³⁾、今井光信¹⁾

1) 神奈川県衛生研究所 微生物部

2) エイズ予防財団 リサーチレジデント 3) 慶應義塾大学医学部

4) 横浜州市市民病院 5) 厚木市立病院 6) SRL

7) 国立感染症研究所

285 HAART著効例HIV-1感染患者における残存HIV-1プロウイルス複製レベルの評価

永井裕美¹⁾、水野善文¹⁾、加堂真由¹⁾、服部純子¹⁾、濱口元洋¹⁾、間宮均人¹⁾、西山幸廣²⁾、金田次弘¹⁾

1) 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター

2) 名古屋大学医学部

286 特異性を高めた改良型Real-time nested PCR法によるHIV-1 provirusの定量

山本典生、山本直樹

東京医科歯科大学大学院 ウイルス制御学講座

3日 11:20～12:40	第3会場
52 診断	

座長 照屋 勝治

(国際医療センターエイズ治療・研究開発センター)

味澤 篤

(東京都立駒込病院感染症科)

287 HAART初回導入後の異型リンパ球の経時的推移

太田康男、北沢貴利、塚田訓久、奥川 周、川田真幹、福島篤仁、小池和彦

東京大学医学部附属病院 感染症内科

288 AIDS合併結核におけるQuantiFERON-TB第2世代の有用性についての検討

永井英明¹⁾、有賀晴之¹⁾、森 亨²⁾
1)国立病院機構東京病院 呼吸器科 2)結核予防会結核研究所

289 HIV感染症患者の中樞神経疾患早期発見における頭部MRIの意義

酒井美緒¹⁾、笹川 淳²⁾、森 正彦²⁾、牧江俊雄²⁾、山本善彦²⁾、上平朝子²⁾、白阪琢磨²⁾
1)国立病院機構大阪医療センター 放射線科
2)同 免疫感染症科

290 HIV感染者におけるうつ病の有病率の検討

工藤永子、内藤俊夫、久保健太郎、三橋和則、山口正純、武田直人、福田 洋、磯沼 弘、檀原 高、林田康男
順天堂大学

291 当院における新規HIV感染者の過去受診歴についての検討

高山義浩、小林智子、福岡俊也、小澤幸子、岡田邦彦
佐久総合病院総合診療科

292 一般的臨床検査値異常を見たときにHIV感染症をどのくらい疑うべきか

安岡 彰¹⁾、鳴河宗聡¹⁾、舟田 久¹⁾、照屋勝治²⁾、源河いくみ²⁾、立川夏夫²⁾、菊池 嘉²⁾、岡 慎一²⁾、木村 哲²⁾
1)富山医科薬科大学医学部 感染予防医学
2)国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

293 急性HIV感染症状を呈した41例の臨床的検討

味澤 篤、菅沼明彦、今村顕史、根岸昌功
都立駒込病院 感染症科

294 当院で経験したHIV感染初期の症例

後藤哲志、白野倫徳、高田由紀子、阪上賀洋
大阪市立総合医療センター

3日 9:00~9:50 第4会場 53 動物モデル

座長 庄司 省三
(熊本大学大学院医学薬学研究部)

295 HIV感染可能なhu-CBL-ScidにおけるヒトT細胞のマルチカラー解析

後藤優美、原田英樹、鈴 伸也、岡田誠治
熊本大学 エイズ学研究センター 予防開発分野

296 新規免疫不全マウスNOD/SCID/Jak3^{-/-}マウスにおけるヒトT細胞の再構築

原田英樹¹⁾、後藤優美¹⁾、高田比呂志²⁾、鈴 伸也¹⁾、滝口雅文²⁾、岡田誠治¹⁾
1)熊本大学エイズ学研究センター 予防開発分野
2)熊本大学エイズ学研究センター ウイルス制御分野

297 NOGマウスを利用したHIV-1慢性感染実験系の確立

渡辺 哲¹⁾、寺嶋一夫²⁾、太田信頼³⁾、堀端重男³⁾、清水則夫¹⁾、本多三男³⁾、山本直樹³⁾
1)東京医科歯科大学 難治疾患研究所 ウイルス治療学
2)東京医科歯科大学大学院 ウイルス制御学
3)国立感染症研究所 エイズ研究センター

298 逆転写酵素とインテグラーゼ遺伝子がHIV-1由来のSHIV-rtiのサル感染実験

井戸栄治、石松美沙、秋山尚志、三浦智行、速水正憲
京都大学ウイルス研究所

299 糖鎖欠失SIVの弱毒化のメカニズムの解析

杉本智恵¹⁾、中山英美²⁾、塩田達雄²⁾、山本直樹³⁾、永井美之⁴⁾、森 一泰³⁾
1)科学技術振興機構CREST 2)大阪大学 微生物病研究所
3)国立感染症研究所 エイズ研究センター
4)理化学研究所 感染症研究ネットワーク支援センター

3日 9:50~10:40 第4会場 54 免疫1

座長 村上 利夫
(化学及血清療法研究所)

300 NK活性とサイトカイン産生に対するHIV-1 Nefの影響

林 隆也、西辻裕紀、久保 誠、増田貴夫、神奈木真理
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科免疫治療学

301 HIV-1 Nef down-regulates surface expression of CD1a molecules in immature dendritic cells: analysis of interaction between CD1a cytoplasmic tail and HIV-1 Nef

新谷英滋、大脇敦子、清水真澄、渡辺恵理、小宮暢子、日高千鶴乃、高橋秀実
日本医科大学 微生物学・免疫学教室

302 不活化HIV-1感作樹状細胞免疫とCXCR4アンタゴニスト投与によるR5およびX4 HIV-1感染防御

吉田篤司¹⁾、大隈 和¹⁾、田中礼子¹⁾、山本直樹²⁾、田中勇悦¹⁾
1)琉球大学大学院 医学研究科 免疫学分野
2)国立感染症研究所 エイズ研究センター

303 CXCR4架橋および抗CD3/CD28ビーズで刺激によるPBMCからのR5 HIV-1感染抑制因子の産生

李 康広¹⁾、吉田篤司¹⁾、大隈 和¹⁾、田中礼子¹⁾、山本直樹²⁾、田中勇悦¹⁾
1)琉球大学大学院 医学研究科 免疫学分野
2)国立感染症研究所 エイズ研究センター

304 HIV-1感染防御を目的とする単球のマニピュレーション：単球のCXCR4、CCR5架橋を介するHIV-1受容体の発現抑制とHIV-1免疫誘導樹状細胞の分化培養

田中勇悦¹⁾、吉田篤司¹⁾、大隈 和¹⁾、田中礼子¹⁾、山本直樹²⁾

1)琉球大学大学院 医学研究科 免疫学分野

2)国立感染症研究所 エイズ研究センター

3 10:40~11:30

第4会場

55 免疫2

座長 上野 貴将

(熊本大学エイズ学研究センター)

305 広範囲HIV-1中和単クローン抗体のin vitro逃避ウイルスの誘導と解析

柴田潤二¹⁾、吉村和久¹⁾、前田洋助²⁾、村上利夫³⁾、小糸 厚¹⁾、松下修三¹⁾

1)熊本大学エイズ学研究センター 病態制御分野

2)熊本大学医学薬学研究部 感染防御学分野

3)勸化学及血清療法研究所 菊池研究所 試作研究部

306 HIV-1感染者、末梢静止CD4T細胞上の表面免疫複合体は病態、予後に深くかかわっている

鈴木康弘、湯永博之、立川夏夫、菊池 嘉、照屋勝治、本田美和子、源河いくみ、岡 慎一、木村 哲

国立国際医療センター 治療開発センター

307 Th2優位の環境下におけるNKT細胞を介したX4-type HIV-1の感染拡大

日高千鶴乃、渡邊恵理、清水真澄、山西慎吾、里見操緒、樋口智江、高橋めぐみ、新谷英滋、高橋秀実

日本医科大学 微生物免疫学教室

308 T細胞由来抗HIV-1液性因子からみた

HIV-1感染長期未発症者のAIDS発症遅延要因

山下篤哉¹⁾、照沼 裕²⁾、とう学文²⁾、高嶋能文³⁾、花房秀次⁴⁾、岡 慎一⁵⁾、酒井道生⁶⁾、白幡 聡⁶⁾、藤井輝久⁷⁾、石川正明⁸⁾、高橋義博⁹⁾、池田柊一¹⁰⁾、三浦琢磨¹¹⁾、松田重三¹²⁾、田中勇悦¹³⁾、葛西宏威¹⁾、加藤伊陽子¹⁾、山本直樹¹⁴⁾、三間屋純一³⁾、伊藤正彦¹⁾

1)山梨大学大学院 医学工学総合研究部 微生物学

2)日本バイオセラピー研究所 3)静岡県立こども病院

4)荻窪病院 5)国立国際医療センター 6)産業医科大学

7)広島大学医学部 8)東北大学医学部 9)大館市立総合病院

10)佐世保市立病院 11)芳賀赤十字病院

12)帝京大学医学部 13)琉球大学医学部

14)国立感染症研究所

309 AIDS妊婦における血中 α -defensin 1-3濃度

岡崎隆行、池田綾子、庄田亜紀子、西川正能、大島教子、太田順子、稲葉憲之

独協医科大学 産婦人科

3 11:30~12:10

第4会場

56 免疫3

座長 神奈木真理

(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科)

310 2つのHLA-A*1101拘束性Nef特異的CTLによるHIV-1の排除と変異の誘導

小泉寛和¹⁾、藤原 守¹⁾、川島夕佳¹⁾、有海康雄¹⁾、上野貴将¹⁾、岡 慎一²⁾、滝口雅文¹⁾

1)熊本大学エイズ学研究センター ウイルス制御分野

2)国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

311 HLA-B*5101を持つ長期未発症者におけるHIV-1 Pol特異的CTLの役割

川島夕佳¹⁾、藤原 守¹⁾、佐藤愛美¹⁾、岡 慎一²⁾、滝口雅文¹⁾

1)熊本大学エイズ学研究センター ウイルス制御分野

2)国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

312 HLA molecules restricting common Gag CTL epitopes may differ between subtype B and CRF01_AE infection

Tanaka Mari¹⁾、Sriwanthana Busawaran¹⁾、Jitjuk Bongkod¹⁾、Pathipvanich Panita¹⁾、Sawanpanyalert Pathom¹⁾、Ariyoshi Koya²⁾

1)National Institute of Health, Thailand

2)Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University

313 Epitope Recognition of CRF01_AE (subtype E) Gag protein by T-lymphocyte Interferon Gamma Production

Sriwanthana Busarawan¹⁾、Jitjuk Bongkod¹⁾、Rojanawiwat Archawin¹⁾、Tanaka Mari¹⁾、Pathipvanich Panita¹⁾、Sawanpanyalert Pathom¹⁾、Ariyoshi Koya²⁾

1)National Institute of Health, Thailand

2)Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University

3 12:10~13:00

第4会場

57 免疫4

座長 吉田 篤司

(琉球大学大学院医学研究科)

314 Interferon gamma/CD107a/b染色によるHIV特異的CD8陽性T細胞の検出系の確立

富澤麻利子、立川(川名)愛、中村哲也、岩本愛吉

東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野

315 HIV-1特異的CD8+T細胞によるHIV-1感染CD4+T細胞認識とサイトカイン産生

藤原 守¹⁾、高田比呂志¹⁾、岡 慎一²⁾、滝口雅文¹⁾

1)熊本大学エイズ学研究センター ウイルス制御分野

2)国立国際医療センター エイズ治療研究開発センター

316 抗HIV活性を喪失したHIV特異的な細胞傷害性 T細胞の解析

上野貴将¹⁾、井手上結香¹⁾、岡 慎一²⁾、
滝口雅文¹⁾

1) 熊本大学エイズ学研究センター 2) 国立国際医療センター

317 日本人HIV-1感染長期未発症者における HLA-B遺伝子多型の検討

照沼 裕¹⁾、Mwansa Munkanta²⁾、
高橋 恵³⁾、花房秀次⁴⁾、三浦琢磨⁵⁾、
池田柊一⁶⁾、酒井道生⁷⁾、藤井輝久⁸⁾、高橋義博⁹⁾、
岡 慎一¹⁰⁾、松田重三¹¹⁾、石川正明¹²⁾、瀧 正志¹³⁾、
高嶋能文¹⁴⁾、三間屋純一¹⁴⁾、伊藤正彦²⁾、
木村彰方³⁾、安波道郎³⁾

1) 日本バイオセラピー研究所 2) 山梨大学 3) 東京医科歯科大学
4) 荻窪病院 5) 芳賀日赤病院 6) 佐世保市民総合病院
7) 産業医科大学 8) 広島大学 9) 大館市民病院
10) 国立国際医療センター 11) 帝京大学 12) 東北大学
13) 聖マリアンナ大学 14) 静岡県立こども病院

318 ヒト免疫不全ウイルス感染症に対する特異的免 疫療法と計画的抗ウイルス薬の中断 (免疫学的解析)

中村哲也¹⁾、富澤麻利子²⁾、立川 愛²⁾、
小田原隆¹⁾、細谷紀彰²⁾、井出冬章²⁾、岩本愛吉¹⁾

1) 東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科
2) 東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野